

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No.	備考
52	B-07023275	男性	10歳	20 mg	ヒベズ酸チベピジン カルボシステイン トラネキサム酸 アセトアミノフェン ツロプテロール	異常行動	軽快	前日夕方より、発熱39度。寝ていて目が覚めると自分では動かそうとしていないのに体が勝手に動く。 服薬1日目昼、ザナミビル水和物処方。夜、ザナミビル水和物吸入。寝ているときに目を覚ますが、自分の手の影を見て、「あれ見て!」、ニコニコと笑いながら「楽しみだなあ、どんな色にしようかなあ」等意味不明なことをはっきりと話す。 服薬2日目朝、ザナミビル水和物吸入。屋に寝ていると、以前と同じように体が勝手に動き少しパニックに。トイレに行くのと落ち着いた。夜、寝ていても一時間毎に怒ったようなうなり声や叫び声を出し、起き上がり、ペンをかくことも。夜中には落ち着く。 服薬3日目朝、朝なかなか起きられず、目を白目をむくようにあけるのだが、起きられず。いびきのような寝息をたて、寝てしまう。屋は、屋寝もなしのため異常なし。夜、寝ていて咳をするたびに怒ったようなうなり声や叫び声を出して、時には「いやだ!! やめてくれ!!」と言ったり、布団を蹴って暴れたりする。起き上がって座り、泣くことも。 服薬4日目夜、体温36.5度。咳をよくするが、起きたり叫ぶ事なく寝る。	異常以外-18	
53	B-07025713	男性	10歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動 幻覚	軽快 軽快	服薬1日目、インフルエンザ迅速診断でA型(+), ザナミビル水和物処方。昼・夕、本剤吸入。2回目の吸入後、4回意識が朦朧となり母親がわからなく、呼名に対しても反応がなかった。1分間位で母親が話しかけ意識回復したが、その時の体温は39-40度と高熱でなかなか眠れず開眼して意識がボンヤリした状態であった。夜半 体温40度。意識もうろうとなり、幻覚出現(戦争で戦っている人が見えた。母親が友人の父親に見えた)。深夜、救急病院受診。入院。頭部CT検査など異常なし。以後使用中止。	異常以外-19	
54	B-07026749	女性	10歳	20 mg	ヒベズ酸チベピジン カルボシステイン アセトアミノフェン	痙攣	回復	服薬1日目、インフルエンザのためにザナミビル水和物処方。 翌日、痙攣が発現した為に当院に搬送され入院。本剤中止。 服薬中止2日後、痙攣回復。	異常以外-20	
55	B-07028196	男性	10歳	20 mg		異常行動 精神症状	回復 回復	ザナミビル水和物服用1日目、朝、本剤1回目吸入。夜、体温38.5℃。本剤2回目吸入後、横になって寝ていたり、目を覚ましたり、を繰り返している状態。2回目吸入約4時間後、体温39.4℃。父、母からの呼びかけに対して「僕ってだれ?」「僕の名前がわからない」という発言を繰り返す。母の「私(母親)の事がわかる?」という問いかけに対しても、「誰がいるのか分からない」と返答。同様に、父親の顔もわからない、知らないと繰り返す。手は小刻みに震えていたような感じがみられた。 2回目吸入4時間40分後、通常の意識に戻る。本人が「水が飲みたい」と主張し、水分をとり、トイレにも行き、そのあと就寝。関節の痛みのために、立ち上がった時の補助はしたものの、それ以外の動作はいつもどおり自分ひとりで済ませる。 服用2日目、朝、体温不明。昨夜の事は何もなかったように朝を向かえ、その後、異常言動はなし。本剤継続したが、問題行動などはなし。	異常以外-21	08/04/01以降 追加報告
56	B-08026727	不明	10歳	投与量不明		譫妄	未回復	ザナミビル水和物服用1日目、昼、夜、本剤吸入。夜中、うわごと発現。 服用2日目、医師に相談し、本剤は使い続けるようにということで、本剤は中止せず。昼頃、熱は37.3℃に下がったが、まだうわごとを言う。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No.	備考
57	B-08026806	女性	10歳	20 mg	リン酸ジメモルファン カルボシステイン アセトアミノフェン	幻覚	回復	38.8度の発熱、頭痛、咽頭痛、咳、めまいがあり、受診。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。 服用2日目、本剤吸入から20～30分後、体が熱く、ふとんが重く感じ「ふとんが燃えている」との訴えあり。(その後服用3日目までの計3回の吸入直後に、同様の発言した。)自分のふとんだけが熱く燃えている、重いと言って、他の兄弟のふとんをはぎとり自分にかけて寝たとのこと。 服用4日目、解熱。		08/04/01以降 新規報告
58	B-08027291	男性	10歳	20 mg		幻聴	回復	体温38.3℃。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。昼、本剤吸入。夕食前より、恐いなど言い出した。本剤2回目吸入。夜間、就寝時、幻聴が聞こえ恐いと言うなど精神症状あり。幻聴が強くなった。 服用2日目、朝、異常なし。幻聴はなく、インフルエンザの症状も軽くなったとのこと。		08/04/01以降 新規報告
59	B-08027376	男性	10歳	20 mg	クラリスロマイシン テオフィリン アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱のため受診し、ザナミビル水和物、クラリスロマイシン、テオフィリン、アセトアミノフェン処方。同日、服用開始。 服用2日目、朝、夕、本剤吸入。夜間、寝ていたが、急に手でバタバタと床をたたき出し、呼びかけても目線はあわず、フラフラと歩く行動が発現。救急要請。事象発現約8分後、救急車到着時には、意識清明。病院へ搬送後、インフルエンザA型と診断され、経過観察目的で入院。 服用3日目、朝、本剤吸入。昼過ぎ、意識清明であり、退院。		08/04/01以降 新規報告
60	B-08027957	男性	10歳	20 mg	非ピリン系感冒剤(4) ツロプロテロール アズレンスルホン酸ナトリウム	幻覚 異常行動	軽快 軽快	咽頭痛、鼻水、咳あり、受診。体温36.9度。その後、熱発、頭痛あり再受診。体温38.4度。インフルエンザA型陽性と診断され、ザナミビル水和物処方。同日朝、本剤初回吸入後、就寝。同日昼過ぎ、突然起き出し、幻覚(何かが見える、おびえる)といった症状が発現。数分で軽快。同日夕方、本剤吸入2回目、体温36℃台。本剤吸入約5時間半後、深夜、突然起き上がり、目の焦点が合わないといった症状が発現。5分程度で軽快。 服用2日目、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
61	B-08027958	男性	10歳	20 mg	塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン ヒベンズ酸チペビジン	浮動性めまい 血圧低下 ジスキネジー 意識妄容状態 蒼白 チアノーゼ	回復 未回復	インフルエンザA型の診断にて、ザナミビル水和物処方。 同日、本剤吸入時にめまい、ふらつき、体をビクビクさせる動きが発現。もうろうとした状態、顔面蒼白、口唇チアノーゼ認めるも、その後回復。約2時間後、再度ふらつき、めまいが発現し、救急搬送され、緊急入院。頭CTでは明らかな異常なし。 3日間入院し、改善みられ退院。		08/04/01以降 新規報告
62	B-08029314	男性	10歳	20 mg	アセトアミノフェン	譫妄 振戦	不明 不明	ザナミビル水和物服用2日目、朝、本剤吸入後、体温39℃で、うわごと、ふるえが発現。		08/04/01以降 新規報告
63	B-08031642	女性	10歳	20 mg	鎮咳配合剤(1) 塩酸アンブロキシオール	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用1日目、夜、本剤吸入約2時間後、「熱い」「足がかゆい」と言って起きてくる。30分おきに約5時間症状が継続。 服用2日目、朝、本剤吸入したが、昼間は日常と変わらず。夕、本剤吸入。体温37℃。夜、昨夜と同様の行動を3、4回繰り返す。 服用3日目、朝、医師の指示により、本剤中止。夜、異常なし。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No.	備考
64	B-06026798	男性	11歳	20 mg	セフジニル 葛根湯 セラベプターゼ ヒベンズ酸チペピジン	異常行動	回復	ザナミビル水和物投与開始。使用6時間半後、異常言動発現し、5分程度で回復。	異常以外-22	
65	B-07023490	女性	11歳	20 mg		譫妄	回復	詳細不明	異常以外-23	08/04/01以降追加報告
66	B-08026176	男性	11歳	投与量不明		幻覚 異常行動	回復 回復	服用1日目、2日目に、家に帰る等の幻覚を思わせるような言葉を発した。布団を叩くような仕草もあり。		08/04/01以降新規報告
67	B-08027683	男性	11歳	投与量不明	アセトアミノフェン	悪夢 睡眠時麻痺	不明 不明	37~38℃の発熱、足が痛い、クラクラするという症状があり受診。A型インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夕食後、本剤1回目吸入。ボールを投げつけられるという悪夢と金縛りのような感じがあり起きてきた。服用2日目、熱は下がった。昼寝をさせたところ今度は高い所から落ちるといふ悪夢を見たとのこと。医師に相談し、本剤中止。		08/04/01以降新規報告
68	B-08027962	男性	11歳	20 mg	アセトアミノフェン セフトレニドピキシル 塩酸アンブロキシール 塩酸フェキソフェナジン フェンジソ酸クロペラスチン	異常行動	軽快	耳鼻科でセフトレニドピキシル、塩酸アンブロキシール、塩酸フェキソフェナジン、フェンジソ酸クロペラスチンが処方されていたが、インフルエンザ様症状が発現し、受診。ザナミビル水和物等処方。本剤服用開始。服用3日目、大声を出したり、笑い出す、布団を跳ね除けるといった行動をとり、急患センターを受診。本剤終了。服用開始から4日目、朝、症状は軽快。		08/04/01以降新規報告
69	B-08028348	女性	11歳	20 mg	アセトアミノフェン	幻覚	回復	体温39℃。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。服用1日目、未明、突然起き出し、ふすまの方を見て笑い出し、「お姉ちゃんたちがいる」と発言。その時の熱は高かった。母親が声をかけてそのまま寝た。		08/04/01以降新規報告
70	B-08029575	男性	11歳	10 mg		意識変容状態	軽快	発熱あり。インフルエンザB型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。服用3日目、解熱、傾眠がちでうごとあり。服用4日目、受け答え悪く様子おかしい。夜間、受診し、本剤中止。本剤中止から3日目、様子変わらないため、再診。インフルエンザ脳炎の疑いにて入院。場所、月日が分からず、インフルエンザ罹患後の記憶がないようだった。傾眠あり。本剤中止から4日目、活動性改善し、外来管理。自宅にて家人と話すうちに現実感を取り戻しつつあった。		08/04/01以降新規報告
71	B-08031474	男性	11歳	20 mg		意識変容状態	回復	ザナミビル水和物服用1日目、夜、母親に暴言をはいた。その後、就寝。		08/04/01以降新規報告
72	B-08031644	不明	11歳	10 mg		譫妄	不明	ザナミビル水和物吸入後、うごとを言ったので、本剤中止。		08/04/01以降新規報告
73	B-08031783	女性	11歳	20 mg	鎮咳配合剤(1)	幻覚	回復	体温38.1℃、インフルエンザにて、ザナミビル水和物服用。服用2日目、3日目、風船が飛んでいると保護者に報告した。服用4日目、幻覚症状消失。		08/04/01以降新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回公開No.	備考
74	B-06026546	女性	12歳	10 mg	アセトアミノフェン セラペブターゼ リン酸ジメモルファン 塩酸アンブロキシロール	異常行動	回復	インフルエンザA型でザナミビル水和物を吸入。本剤吸入し約2時間半後、眼が上転気味になり、臥位から坐位へ移行し、立ち上がろうとする動作を繰り返す、手を首の所へ持っていく、指でかきむしるような動作も起こす。その後、体を少し硬直させて意味不明な言葉を発した。	異常以外-25	
75	B-07023807	女性	12歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	服薬1日目、A型インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。本剤吸入して休む。夜半に急に大声で叫び、暴れる。手は強直状態。両親で抑えつける。約3分間、本人は全く記憶なし。 服薬2日目、朝、夕 本剤吸入。異常なし。	異常以外-26	
76	B-07024518	女性	12歳	20 mg	リン酸ジメモルファン セラペブターゼ クラリスロマイシン イブプロフェン カルボシステイン d-マレイン酸クロルフェニラミン ピフィズス菌製剤	幻聴 視覚障害	軽快 軽快	ザナミビル水和物服用1日前、体温39.6℃。熱っぽさ、筋肉痛自覚し、受診。リン酸ジメモルファン、カルボシステイン、セラペブターゼ、d-マレイン酸クロルフェニラミン、クラリスロマイシン、イブプロフェン処方され、服用。夕方より、ピントが合わない、焦点が合わないといった視覚症状が発現。 翌朝、臨床症状より、インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。本剤1回目吸入約2時間後、頭の中に人の声が聞こえ、人が騒ぐ感じが発現。夕、本剤2回目吸入。	08/04/01以降 追加報告	
77	B-08026497	女性	12歳	20 mg	アセトアミノフェン	幻覚	回復	インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。午前中、本剤初回吸入した。夜、本剤2回目吸入1時間後、棒のような物が自分の方に向かって飛んでくる、枕元にころがっている、何本もと訴える。症状発現から約30分後、うとうとする。明け方、母親に向かって、お母さんが死んじゃった、と号泣。数分でしずまる。症状発現から約30分後、うとうとする。 以後、発熱もなく、異常症状もなく、順調に経過し治療。	08/04/01以降 新規報告	
78	B-08026805	男性	12歳	10 mg	カルボシステイン 塩酸アンブロキシロール 塩酸プロカテロール	落ち着きのなさ 異常行動	回復 回復	ザナミビル水和物服用1日前、インフルエンザ発症。 服用1日目、朝、体温39.2℃。昼、本剤初回吸入してから約20分後、突然走り出しソファに向かい、「何でお母さんがいるの？」等、理解不能な発語あり。本人に記憶はない。夕、ねぎをにぎりしめ、じーと見つめる行動あり。 服用2日目、朝、寝ていたが急に起床し、「ぼくが64円払って、お母さんが44円払ったんだからいいでしょ」、「ゲームを置いたんだから帰る」等の発言あり。サークルベッドから降りようとする行動があり、欄をよじ登ろうとしていた。	08/04/01以降 新規報告	
79	B-08027364	男性	12歳	20 mg	アセトアミノフェン	悪心 嘔吐 激越 幻覚 落ち着きのなさ	不明 回復 回復 記載なし 記載なし	ザナミビル水和物処方され、服用開始。朝、本剤初回吸入。昼食後、本剤吸入後、吐き気、嘔吐、興奮状態、幻覚があるようで、じっとしてられない状態となった。薬局に連絡したところ、服用をやめ医師に連絡・受診のうえ指示をおおぐよう請す。 服用3日目、朝、1日で解熱、吐気の発現も1回のみ。本剤は同日まで継続服用したが、その後、副作用と思われる症状はなし。	08/04/01以降 新規報告	
80	B-08027685	男性	12歳	20 mg		幻覚 譫妄	回復 回復	38.6度の発熱にて受診。インフルエンザ陽性のため、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。昼、本剤1回目吸入。夕、本剤2回目吸入約2時間後、幻覚が発現。その後、就寝。2回目吸入約4時間後、深夜、睡眠時、突然大声で叫びだした。約1時間継続し、再度、就寝。翌日、起床時には普通の状態。本剤中止。	08/04/01以降 新規報告	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No.	備考
81	B-08027954	女性	12歳	20 mg	イブプロフェン	意識変容状態	回復	39.1℃の発熱あり、受診。インフルエンザA型の診断にて、ザナミビル水和物処方され、服用開始。朝、夕、本剤吸入し、就寝。服用2日目、早朝、気分不良で起床。1分後、階段を降りようとし転落。転落後、記憶なし。脱力。転落直後、トイレに行き、顔面蒼白。嘔気があった。同日午前中には、解熱し、症状改善。その後も本剤継続(計10回服用)。		08/04/01以降新規報告
82	B-08028089	女性	12歳	20 mg	d-マレイン酸クロルフェニラミン 塩酸エブラジノン	痙攣 譫妄	回復 回復	体温38.6度。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物等処方。服用2日目、夜、吸入約2時間後、体温37度。痙攣、うわごと発現。特に処置なく帰宅。		08/04/01以降新規報告
83	B-08028844	女性	12歳	20 mg		意識消失 異常行動 鼻出血	不明 不明 不明	1、2回目のザナミビル水和物吸入2時間後、意識消失、鼻出血あり。3回目の吸入2時間後、量をたたく等の行為、暴れるといった行動が発現。熱は高熱であった。リン酸オセルタミビルでは問題なかった。		08/04/01以降新規報告
84	B-06025267	女性	13歳	20 mg	セラペプターゼ 塩酸アンブロキシール	衝動行為 激越 痙攣 構語障害	回復 回復 回復 回復	インフルエンザで、ザナミビル水和物投与開始。投与2時間後、覚醒し、興奮、発作出現。落ち着いてから、異常発語継続。	異常以外-27	
85	B-07020645	女性	13歳	20 mg	アセトアミノフェン	幻覚 自殺念慮	回復 回復	インフルエンザキットでA型陽性。ザナミビル水和物処方され、昼・夕、本剤10mg吸入。深夜、幻覚、自殺念慮出現。すべての物がゴミに見えた。母親もゴミに見え、自分も含み必要ないものと思え、死のうと考えた。明け方頃に回復、就寝。服薬2日目、昼頃、起床。幻覚出現し、約30分間症状は継続したのち回復。	異常以外-28	
86	B-08023847	女性	13歳	20 mg	ロキソプロフェンナトリウム ホスホマイシンカルシウム	失見当識 意識消失	回復 回復	39℃台の発熱あり、受診。インフルエンザA型陽性で中耳炎合併疑われ、ザナミビル水和物、ロキソプロフェンナトリウム、ホスホマイシンカルシウム処方。午後、夜、本剤吸入。服用2日目、朝、嘔吐、下痢発現1時間後、本剤吸入。嘔吐、下痢のため受診。体温40.5℃。受診中、意識消失発現。すぐ回復するも、見当識障害あり。脳波、血液検査、頭部MRIに異常なし。脳症は否定され、点滴処置のうえ、経過観察。体温38.7℃。見当識障害、次第に回復。服用開始から3日目、朝、体温36.9℃。意識は回復し、退院。		08/04/01以降新規報告
87	B-08026499	男性	13歳	20 mg		異常行動	回復	38度の発熱にて受診。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夜、本剤吸入後すぐ立ち上がって、運動しなければという妄想にかられて足をバタバタさせていた。服用2日目、夜、本剤吸入後、眼がうつろで、「どうしたんだ」と尋ねても、正常な応答ができなかった。急におきあがって、左足がふるえて、おさえていないととまらなかった。会話にもならず、何をやっているかわからない状態だった。		08/04/01以降新規報告
88	B-08028086	女性	13歳	20 mg	ヒベンス酸チベジジン 塩酸アンブロキシール 耐性乳酸菌製剤(3)	意識変容状態	回復	体温38度。翌日受診し、インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物吸入開始。服用3日目、解熱。本剤終了。服用終了3日後、学校へ登校後、倒れた。服用終了4日後、回復。		08/04/01以降新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No.	備考
89	B-08028722	女性	13歳	20 mg		意識レベルの低下 無力症 蒼白	回復 回復 回復	38.1℃の発熱あり、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夕、本剤吸入約10分後、気分が悪くなり、脱力が発現。顔面蒼白、意識レベルの低下がみられた。「だいじょうぶですか?」と呼びかけても返事をせず、眼を閉じたままであった。吸入約15分後(事象発現5分後)、脈は約80/分であり、すぐに意識回復。吸入約25分後(事象発現15分後)、休んだところ顔面も良好な色となり、起立して歩くことができるようになった。		08/04/01以降 新規報告
90	B-08029858	女性	13歳	20 mg		記憶障害	軽快	受診日と同日より、ザナミビル水和物服用開始。午後、軽度の意識レベルの低下が発現。 服用2日目、午前中、軽度の意識レベルの低下が発現。夜、異常行動、記憶障害が発現。 服用3日目から4日目、午前中、午後、軽度の意識レベルの低下が発現。 服用5日目、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
91	B-08032017	不明	13歳	投与量不明	イブプロフェン カルボシステイン	異常行動	回復	詳細不明		08/04/01以降 新規報告
92	B-06026799	男性	14歳	10 mg	ヒベンス酸チペピジン 麻黄附子細辛湯 クラリスロマイシン アセトアミノフェン 塩化デカリニウム	意識変容状態 幻覚	軽快 回復	インフルエンザBと診断され、ザナミビル水和物等服用開始。投与2日目の夜、幻覚出現。投与4日目の夜、玄関のドアの前にふらふらと立っていた。その後入眠、その30分後、突然目を覚まし、幻覚出現、取り付かれたようにバランスボールを手で5-6分ついでその後入眠。投与5日目、軽度意識障害あり、傾眠がちとのことで入院。脳のCT、MRI、脳波、血液を行い、インフルエンザ急性脳症の疑いなし。	異常以外-29	
93	B-08024168	男性	14歳	20 mg		失神	回復	インフルエンザ陽性にてザナミビル水和物を処方。本剤1回目を吸入直後、5分程度失神し回復。薬剤との因果関係はないと判断し、継続して本剤を吸うように指示される。2回目吸入後は失神する事もなく、インフルエンザ回復。		08/04/01以降 新規報告
94	B-08027295	男性	14歳	投与量不明		意識変容状態 大発作痙攣	軽快 軽快	ザナミビル水和物服用4日目(解熱から2日目)、応答がおかしくなってきた20分程してから全般性強直間代発作が5分間起こり、経過観察入院。		08/04/01以降 新規報告
95	B-08027368	女性	14歳	投与量不明		痙攣	不明	インフルエンザのため、ザナミビル水和物処方され、同日より5日間服用。服用開始から6日目、熱が下がったので、登校するも、登校中に痙攣が発現し裂傷を負ったため、救急搬送された。今まで同様の症状の発現はない。		08/04/01以降 新規報告
96	B-06025365	女性	15歳	20 mg	鎮咳配合剤(1) カルボシステイン	痙攣	回復	A型インフルエンザと診断し、ザナミビル水和物投与。投与2日目使用後、意識消失し、間代性けいれんが1分間続いた。	異常以外-30	
97	B-08031778	男性	15歳	20 mg	セフトレキシム アセトアミノフェン	落ち着きのなさ	回復	ザナミビル水和物服用1日目、昼、体温38.5℃。本剤吸入。夕、本剤吸入約1時間後、じっとしていられない感じになる。症状は約1時間で消失。服用開始から2日目以降、上記のような症状はなし。発熱ないため、本剤服用せず。 服用開始から3日目、夕、体温37.7℃と発熱を認め、本剤吸入。異常行動は発現せず。 服用開始から4日目、朝、再診し、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	識別番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No.	備考
98	B-07008920 (B00-13440)	男性	16歳	20mg	キョウニン水 オウヒエキス ヒベンズ酸チベジン	激越	回復	インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物投与開始。突然、感情が高ぶり、激越状態となる。家の中にいると何かを壊したくなり、外を歩き回っているうちに症状が治まった。	異常以外-31	
99	B-07008921 (B02-03791)	女性	16歳	20mg	アセトアミノフェン 塩酸エブラジノン ジヨサマイシン	鎮静	回復	インフルエンザでザナミビル水和物投与3日目、頭がボーとする。脳CTにて異常なし。	異常以外-32	
100	B-08026811	男性	16歳	20 mg	クラリスロマイシン 塩酸エブラジノン カルボシステイン トラネキサム酸	幻覚	軽快	A型インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夕方、本剤吸入後すぐに幻覚発現。幻覚は約36時間継続。服用2日目、朝、夕、本剤吸入。服用3日目、医師より本剤中止の指示あり、同日より、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
101	B-08027678	男性	16歳	20 mg		幻覚	回復	受診時、体温38℃、鼻水、咳、咽頭痛あり。インフルエンザウイルス抗原精密測定でA型の反応あり、ザナミビル水和物処方。本剤吸入直後、幻覚発現し、個室に隔離し監視したところ、約30分で幻覚消失。30分過ぎより次第に平常に戻った。本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
102	B-07008100 (B00-12745)	女性	17歳	5mg		意識消失	回復	症状よりインフルエンザと診断。1プリストア吸入後、容器を片付けている途中に、突然、パタンと床に倒れ、10秒程度意識を失った状態。30分後の再診時、患者は虚脱、皮膚の冷感・蒼白、チアノーゼ、血圧低下が認められた。意識障害はなく回復した。	異常以外-33	
103	B-07026093	男性	17歳	投与量不明	非ピリン系感冒剤(4) ロキソプロフェンナトリウム 解熱鎮痛消炎剤	精神症状 精神症状	回復 不明	A型インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。服用3日目、主に性的な内容のことを大声で叫ぶなどの精神症状発現。翌日より学校の修学旅行を控えていたため、近医内科にその可否を相談。本剤中止。服用開始から4日目(修学旅行当日)、未明より、旅行準備を始めるが、目がうつろで、明らかにいつもと異なることに気づいた母親が、修学旅行参加を断念させた。	異常以外-34	08/04/01以降 追加報告
104	B-08005354	男性	17歳	20 mg	非ピリン系感冒剤(4) セフジニル ベタメタゾン・d-マレイン酸クロ ルフェニラミン 非ピリン系感冒剤(4) ロキソプロフェンナトリウム プラノプロフェン	幻覚 妄想	軽快 軽快	ザナミビル水和物服用1日前、感冒症状発現。体温38℃台。非ピリン系感冒剤、セフジニル、ベタメタゾン・d-マレイン酸クロルフェニラミン服用にて解熱。翌日、キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。本剤吸入。ボーっとして生気がなく、服用1日目以降は、38℃を超える発熱はないが、3日間反応鈍く、傾眠傾向。服用2日目、インフルエンザ改善により本剤終了。服用終了から3日目、朝から「エイリアンがいる」等の幻覚妄想状態発現。不眠。服用終了から16日目、髄液圧上昇以外は異常なし。服用終了から20日目、入院。服用終了から約3ヵ月目、精神神経科退院。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概	11回公表No.	備考
105	B-08031463	男性	18歳	10 mg	アセトアミノフェン セラペブターゼ レバミピド 臭化水素酸デキストロメトルファン	不安 多幸気分 耳鳴 落ち着きのなさ	回復 回復 回復 回復	発熱のため、受診。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夕、本剤吸入し、就寝。約1時間30分後、覚醒したが不安感が強く、意識が高ぶる、じっとしてられない、耳鳴が強い、ゆっくりと動作ができない等の症状が発現。自分でも恐いと思った。症状は約10分継続し、自然消失した。その後、本剤中止し、同症状の再発現なし。		08/04/01以降 新規報告
106	B-08025879	男性	19歳	10 mg		意識消失	軽快	昼頃、ザナミビル水和物を吸入した。約2時間半睡眠をとった後、数秒の意識消失が2回あり。救急車にて病院に搬送された。来院時は、意識清明であった。		08/04/01以降 新規報告
107	B-08031174	男性	19歳	40 mg	ロキソプロフェンナトリウム	意識消失	回復	ザナミビル水和物服用1日前、38.3℃発熱あるも、キットにてインフルエンザ陰性。翌日、キットにてインフルエンザB型の診断にて、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。服用2日目、体温38℃台。本剤吸入後、意識消失(約10秒)が発現。		08/04/01以降 新規報告
108	B-08026724	不明	10歳代	投与量不明	塩酸ソロプロテロール d-マレイン酸クロルフェニラミン	幻覚 振戦	不明 不明	インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物等処方。同日、服用開始。幻覚のような症状が見られた。腕が震えたりしているが、併用薬のうちの薬が原因かわからない。翌朝、体温は39℃から37.4℃まで下がった。		08/04/01以降 新規報告
109	B-07027359	男性	20歳	20 mg	麻黄湯 クラリスロマイシン カルボシステイン ピペラシリンナトリウム 乳酸リンゲル液	異常行動	回復	服薬1日目、キャピリアテストにて、インフルエンザA型ウイルス感染と診断。外来受診時に、明らかな神経学的異常所見は認められなかった。外来にて、ザナミビル水和物吸入し帰宅。服薬2日目、朝・夕吸入。夕食後、話しかけても返答なく、部屋の隅に壁を見つめてぼっとしていた。無反応な状態(呼びかけても声をださない)がしばらく続いた。副作用発現後の本剤の吸入なし。服薬中止1日後、異常行動は回復した。	異常以外-35	
110	B-07023803	男性	21歳	20 mg	リン酸コデイン カルボシステイン	異常行動	回復	服薬1日目、キットにてA型インフルエンザと診断し、ザナミビル水和物を処方。深夜、母親の部屋へ行き、ふわふわした感じと携帯電話を大きく感じ、気持ち悪くなるという症状を認めた。服薬2日目、異常行動回復。本剤中止。	異常以外-36	
111	B-08026966	女性	21歳	20 mg		意識変容状態 痙攣	軽快 軽快	インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夜、本剤吸入し、就寝。服用2日目、腹痛のために目覚め、トイレに行こうと歩いていると数秒間、手足が硬直し、ひきつけをおこす。その後、トイレに行き横になったところ、白目をむいて痙攣し、意識を数分失ったため、すぐに救急車搬送される。来院時には意識もはっきりしており、熱も下がっていたため、補液のみにて処置。補液後、特に問題見られず、医師の判断により帰宅。		08/04/01以降 新規報告
112	B-08028350	男性	21歳	20 mg	アセトアミノフェン	意識消失	回復	37.7℃の発熱あり、受診。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。夕方、本剤吸入後、意識消失をきたし、救急車搬送。30~60分程意識がなく、家族があわてて救急車を呼んだとのこと。本剤による有害事象を疑い、以後、本剤中止。服用開始から4日目、再診時、普段と変わらない様子であった。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	個別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No.	備考
113	B-07008922 (B024073)	女性	23歳	20mg	臭化デキストロメトルファン・クレゾールスルホン酸カリウム 塩酸アンブロキシソール	失神 全身性蕁麻疹	回復 回復	インフルエンザにて、ザナミビル水和物投与2日目、失神、蕁麻疹発現。	異常以外-37	
114	B-07010426 (B02-1506)	女性	23歳	20mg	塩酸セフカペンピボキシル 非ピリン系感冒剤 シメトリド・無水カフェイン 臭化水素酸デキストロメトルファン ロルノキシカム ジクロフェナクナトリウム フェンジソ酸クロベラスチン	口内炎 感覚鈍麻 嘔吐	回復 回復 回復	服用開始日、嘔吐が出現。翌日、多発性口内炎、手指しびれ感が発現。	異常以外-38	
115	B-08027530	女性	27歳	20 mg	セフジニル クエン酸ベントキシベリン カルボシステイン アセトアミノフェン	感覚鈍麻 ショック 失神	回復 回復 回復	インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。朝、本剤吸入後、四肢のしびれあり、臥床。しばらくして回復。夕方の吸入について問い合わせあり、来院して吸入するよう指示。夕方、再度来院し、本剤吸入。少ししびれあるが、朝より軽いとのこと。症状軽く、帰宅可能な指示した直後、パタンと音がし、トイレの近くで倒れていた。失神認め、脈触知せず、点滴処置を施行し、直後に回復。		08/04/01以降 新規報告
116	B-08027858	女性	27歳	投与量不明	臭化水素酸デキストロメトルファン アセトアミノフェン	意識消失 頭痛 悪心 嘔吐	回復 不明 不明 不明	ザナミビル水和物服用1日前、36.7℃の発熱にて受診し、臭化水素酸デキストロメトルファン、アセトアミノフェン処方。翌日、37.4℃の発熱にて再診し、インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。本剤投与開始。服用2日目、夜、本剤吸入約4時間後、意識消失発現(2、3分)。その後、頭痛、悪心、嘔吐発現。服用3日目、症状は落ち着く。		08/04/01以降 新規報告
117	B-08028615	女性	29歳	20 mg	イブプロフェン 塩化リゾチーム フェンジソ酸クロベラスチン メキタジン	髄膜炎 脳炎 異常行動	軽快 軽快 不明	40℃を超える発熱あり、受診。インフルエンザの診断にてザナミビル水和物等処方。同日、服用開始。服用2日目、夕より、見当識障害、下痢発現し、徐々に増悪したため、救急搬送され、入院。本剤中止。発現日不明だが、異常行動の発現あり。服用開始から8日目、症状が徐々に緩和。退院。		08/04/01以降 新規報告
118	B-07007933 (B01-01086)	女性	31歳	20mg	非ピリン系感冒剤 塩酸アンブロキシソール ポビドンヨード リン酸ベンプロベリン	低体温 浮動性めまい	回復 回復	インフルエンザと診断し、ザナミビル水和物投与。投与開始2日目夕方、体温下降(34.8℃)、悪寒、めまい出現。投与開始3日目、本剤吸入30分後位から体温下降するため、本剤中止。その後も35℃～35.3℃位で悪寒とめまいが持続。	異常以外-39	
119	B01-12850	女性	32歳	20mg	麻黄湯	失神	回復	投与開始日、失神発現。	異常以外-40	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	症別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	111回公表No.	備考
120	B-07009621 (B0002502)	女性	32歳	20mg	ロキソプロフェンナトリウム レバミピド 非ピリン系感冒剤	小脳性運動 失調	回復	インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物投与開始。翌日、解熱するもめまいが発現。投与3日目、インフルエンザ様症状消失し、本剤中止。その後、めまい消失。神経学的検査では指鼻試験により両側の測定障害が示された。両手の協調運動障害も明らか。ロンベング検査陰性。症状、所見は小脳失調症を示した。本剤中止6日後、全ての神経学的症状消失。脳MRI検査正常。	異常以外-41	
121	B-07010498	女性	32歳	10 mg		口唇炎 口内炎 歯肉炎 口腔粘膜びらん 鼻粘膜障害 頭痛	軽快 軽快 軽快 軽快 軽快 軽快	インフルエンザにて、ザナミビル水和物処方。投与3日目、舌の違和感、鼻の違和感、口角の痛みあり、本剤吸入中止。翌日、頭痛、口内炎多発。	異常以外-42	
122	B03-01557	女性	37歳	20mg	クラリスロマイシン イブプロフェン ヒベンズ酸チペジジン ピフィズス菌製剤(4) 塩酸セフトリアム 塩酸セフカペンピボキシル	めまい感	回復	インフルエンザB型で、ザナミビル水和物投与。投与3日目、ふらつき、食欲不振、咽頭発赤。投与5日目、嘔気。本剤投与中止。投与中止3日後、注視方向性の眼振をみとめた。投与中止9日後、めまいは回復。	異常以外-43	
123	B-0201505	女性	38歳	20mg	ロキソプロフェンナトリウム	めまい	未回復	投与翌日、めまい発現。	異常以外-44	
124	B-06025745	男性	39歳	投与量不明	アセトアミノフェン	てんかん 異常感	回復 回復	インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物服用開始。投与4日目、気分が悪くなり救急外来。救急搬送中にててんかん様症状(眼球上向き、四肢硬直あり)があった。	異常以外-45	
125	B-07008101 (B0102102)	男性	43歳	20mg		味覚異常	回復	インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物投与開始。投与2日後、味覚の異常が出現し、本剤服用中止。投与中止10日後、味覚異常はほぼ回復。	異常以外-46	
126	B02-07176	男性	45歳	20mg	ベシル酸アムロジピン ニセリトール レボフロキサシン メシル酸ベタヒスチン ロキソプロフェンナトリウム ファモチジン	手足のしびれ	軽快	インフルエンザで、ザナミビル水和物投与。投与4日目、手足のしびれが発現。	異常以外-47	
127	B-08027679	女性	45歳	10 mg		悪心 意識レベル の低下	回復 回復	インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物が処方された。1回吸入後、吐き気がし、ベッドから落ちても気づかないほど意識がもうろうとした。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	随別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No.	備考
128	B-08028842	男性	48歳	20 mg	アセトアミノフェン 塩酸エブラジノン	幻覚	回復	体温38.3℃。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、昼、夕、本剤吸入。深夜、目を閉じると灰色の矢印が下から上へ飛んでいくのがたくさん見えるといった幻覚が発現。開眼すれば見えなくなる。 服用2日目、昼、幻覚症状軽快。本剤吸入は指示通り継続。		08/04/01以降 新規報告
129	B-08027853	女性	57歳	20 mg	葛根湯 アセトアミノフェン	失神	回復	体温37.8度あり受診するが、インフルエンザ検査陰性。翌日、再度受診し、B型インフルエンザ陽性と診断され、ザナミビル水和物処方開始。 服用2日目、朝、本剤吸入後、2回失神が発現。同日夕、本剤吸入。 服用3日目朝、本剤吸入後、失神発作にて転倒し、頭部打撲。脳検査等では異常なし。		08/04/01以降 新規報告
130	B-08028087	女性	61歳	20 mg	フレロキサシン メフェナム酸 臭化水素酸デキストロメトर्फア ン セラペプターゼ	幻聴	回復	体温36.2度あり、ザナミビル水和物吸入開始。 服用3日目、夕方、本剤吸入。本剤吸入8時間後、就寝。体温36.5度。同日、本剤吸入11時間後、睡眠時、幻聴発現。体温36.5度。		08/04/01以降 新規報告
131	B-08030756	女性	65歳	20 mg		意識消失	不明	咳、くしゃみ、37.7℃の発熱、頭痛にて、受診。検査にてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。 本剤吸入直後より気分不良となる。意識が朦朧(1~2分後)となり倒れる。うつ伏せの状態、嘔吐を伴う。呼名により返事あり。吸入約30分後、意識混濁の状態のため、救急搬送され、救急外来到着。吸入約40分後、立って歩くことが可能となり、帰宅。 帰宅後も身体がだるく、2~3日は横になっていた。		08/04/01以降 新規報告
132	B-05024195	女性	66歳	20mg	鎮咳配合剤(1) セラペプターゼ アズレンスルホン酸ナトリウム・ レーグルタミン ドンペリドン 臭化水素酸デキストロメトर्फア ン リン酸オセルタミビル 維持液(3) チアミン・アスコルビン酸配合剤	嗅覚錯誤	未回復	インフルエンザA型の診断、ザナミビル水和物投与。翌日から嗅覚が弱くなっていき、投与開始3日目には鼻閉感あり、嗅覚消失。本剤中止後、右側のみ回復し、左側は未回復。	異常以外-48	
133	B-08027852	女性	70歳	20 mg	シクレソニド ツロプテロール モンテルカストナトリウム	幻覚 傾眠	軽快 軽快	ザナミビル服用1日目、夜間、本剤吸入後、色々な動物が見える幻覚が発現。 服用2日目、本剤を吸入するも、幻覚の発現なし。 服用3日目、本剤吸入後、再度動物が見える幻覚が発現したため、自己判断にて、本剤中止。体温38℃あったが、解熱していた。		08/04/01以降 新規報告
134	B-08027375	女性	75歳	20 mg	麻黄湯 ヒベンズ酸チペビジン アセトアミノフェン 塩酸プロムヘキシン	幻覚	回復	インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。 服用3日目、朝、夜、本剤吸入。夜、寝つく前に幻覚発現。完全に寝付くと消失。 服用4日目、朝、夜、本剤吸入。夜、再び寝付く前に幻覚が発現。本剤、麻黄湯服用中止。 服用開始から5日目、夜、幻覚の発現なし。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
135	B-03012403	女性	79歳	20 mg	ベンチルヒドロクロロチアジド・レセルピン配合剤 マレイン酸フルボキサミン シンバスタチン ファモチジン アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン 酸化マグネシウム フルニトラゼパム ニコチン酸トコフェロール アロプリノール ナブメトン フェンジソ酸クロペラスチン 塩化リゾチーム	幻覚	回復	インフルエンザA型の診断、ザナミビル水和物投与。投与開始4日目から5日目まで幻覚出現したため、全ての薬を中止。中止後より落ち着いた様子だが、まだ少し興奮気味。		異常以外-49
136	B-08028843	女性	90歳	20 mg		低血糖症 譫妄 振戦	不明 不明 不明	家族がインフルエンザを罹患したため、予防投与としてザナミビル水和物を吸入。 本剤吸入3回目、低血糖症状が発現。また、地震は起きていないのに「地震や」と言ったり、足が震えたりした。		08/04/01以降 新規報告
137	B-08027105	男性	94歳	20 mg		譫妄 絶叫 浮動性めまい 浮動性めまい 異常行動	回復 回復 不明 不明 回復	ザナミビル水和物服用1日目、本剤1回目吸入後、ふらつき、めまい発現。 服用2日目、ふらつき等の症状が強くなり、せん妄、咆哮がみられた。36℃台に解熱しても、本剤吸入後は暴れたりしたために、かかりつけの精神科を受診。肺炎を併発し、点滴治療。せん妄状態。 服用3日目、精神科受診。せん妄状態。 服用4日目、本剤中止。 服用開始から5日目、改善が見られず入院。リン酸オセルタミビル、フマル酸クエチアピン、リスパリドン、シロドシン、セフピロム、補液等、精神科領域を中心とした治療を開始。 服用開始より12日目、せん妄は消失し、その後、退院。		08/04/01以降 新規報告
138	B-08026807	不明	10歳未満	投与量不明		幻覚 幻聴	不明 不明	ザナミビル水和物吸入後、壁が迫ってくるような幻覚や幻聴がある。以前から熱が高くなるとそのような症状が出てきていた。 今回、本剤吸入後に同じ症状が出ている。 本剤を吸入したら幻覚などの症状が出た。		08/04/01以降 新規報告
139	B-08026608	女性	不明	投与量不明		睡眠時麻痺	不明	インフルエンザにてザナミビル水和物処方。 本剤吸入後、すぐに金縛りになった。それ以降、怖くなって、本剤を吸入していない。		08/04/01以降 新規報告
140	B-08027369	男性	不明	投与量不明		顔面感覚鈍麻 顔面神経麻痺 顔面痛	回復 回復 未回復	ザナミビル水和物服用5日目、本剤吸入約30分後、目、鼻の周りにしびれ、顔の右半分のみ麻痺が発現。 しびれ、麻痺は治まったが、ズキズキする痛みが残り、右半分だけ枕に顔もつけられないほどである。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	個別番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No.	備考
141	B-08028347	不明	不明	投与量不明		転倒・転落 多汗症 意識レベルの低下 浮動性めまい 虚妄	不明 不明 不明 不明	学校で発熱。ザナミビル水和物処方。病院にて説明を受けながら吸入していた直後、倒れ、汗をかき、意識が朦朧とし、めまいが発現。「早く帰ろう」といつもと違う口調でうわごとのようなことも言っていた。倒れた時に、隣に母親がいなかったら頭を打っていたと思う。しばらくして回復し、その後は食欲もあり平気。医師に本剤を続けるほうがいいのか相談すると、夜続けた方がいいと言われた。		08/04/01以降 新規報告
142	B-08029028	男性	不明	20 mg		幻覚 幻視	軽快 軽快	インフルエンザのため、ザナミビル水和物処方。同日、幻覚、幻視が発現。服用2日目、受診。リスベリドン処方し、幻覚が続くようなら服用するよう指導。		08/04/01以降 新規報告
143	B-08029203	男性	不明	投与量不明		意識消失	不明	ザナミビル水和物初回吸入後、しばらくして意識がなくなり救急搬送された。		08/04/01以降 新規報告
144	B-08030415	男性	不明	投与量不明		幻覚	回復	インフルエンザ診断時の体温39℃。壁が透き通ってとなりが見えるといった幻覚が発現。幻覚発現時の体温39℃。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録された事例以外の精神神経系症状事例の追加調査結果

No	識別番号	年齢 年齢 性別	性別	PT名称	リレンザ 使用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就 寝中じゃない:×)	発症直 後に出現	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現時までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温(発症 発現時の 時間以内)	悪臭の記憶	睡眠異常発 生の既往	睡眠異常発 生の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作用	異常な行動に 関する低血糖	異常な行動の 具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言っているのか?)	旧資料 No.
89	B08027855	8	歳	不明	不明	1回目	不明(吸入3分 前後)	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	うわごとを言った。 上記と同様の症状。	
90	B08027863	11	歳	男	悪寒、顔面痛痺	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	ボールを投げつけられるという悪夢と金縛りのような感じが起きました。 回復させたところ今度は高い所から落ちるといった悪夢を見たとのこと。	
91	B08027295	14	歳	男	意識障害状態、天倉作 悪寒	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	顔面して、目目、口唇が赤く、手足が冷たくなってから約30分経過後に顔面痛痺 発作が停止した。	
92	B08027958	10	歳	男	意識障害状態、天倉作 悪寒	不明	1回目	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	めまい、ふらつき、体をどきどきさせる動きが出現する。もうろうとした状態、顔面 蒼白、口唇チアノーゼ認められる。	
93	B08027857	5	歳	女	幻覚	10:30	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	地味に顔面蒼白、めまい、めまいが出現する。	
94	B08027630	27	歳	女	幻覚 悪寒、顔面痛痺、ショック、失神	10:45 17:20	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	「人が見える」という幻覚。 四肢のしびれ。 少ししびれがある。「回目が回り続けること、産状はくも膜下出血の指示をした直後、バ タンと音がし、トイレの近くで倒れていた。失神認め、顔面蒼白せず、ベッドに運びボ タコール点滴、O2 2L施行、すぐに眼拍、緊張感となり回復した。ステロイド、昇 圧剤は使用せず回復した。 「数字が耳から見える」という幻覚も出現した。	
95	B08027959	9	歳	女	幻覚	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	「数字が耳から見える」という幻覚も出現した。	
96	B08027375	75	歳	女	幻覚	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	「数字が耳から見える」という幻覚も出現した。	
97	B08027376	10	歳	男	異常行動	夕方(時刻不 明)	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	夜間寝ていたが、急に手でバタバタと掻きまわし出し、呼びかけても目覚めはあ りませんでした。悪寒、顔面痛痺、めまい、めまいが出現した。悪寒は顔面痛痺と 同時に出現した。	
98	B08028097	91	歳	女	悪寒	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	解熱し、学校へ登校後、学校で倒れた。	
99	B08028098	13	歳	女	意識障害状態	不明(最終投与 後)	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	幻覚の経験不明。	
100	B08027865	12	歳	男	幻覚、悪寒	18:00	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	悪寒、顔面痛痺、めまい、めまいが出現した。悪寒は顔面痛痺と 同時に出現した。	
101	B08028347	8又 (8)	歳	不明	悪寒、顔面痛痺、多汗症、意 識レベルの低下、浮動 性めまい、嘔吐	不明	不明(吸入直 後)	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	悪寒、顔面痛痺、めまい、めまいが出現した。悪寒は顔面痛痺と 同時に出現した。	
102	B08030758	65	歳	女	意識消失	16:00頃	不明	不明(吸入直 後)	不明	不明(1時間 以上)	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	悪寒、顔面痛痺、めまい、めまいが出現した。悪寒は顔面痛痺と 同時に出現した。	
103	B08028348	11	歳	女	幻覚	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	悪寒、顔面痛痺、めまい、めまいが出現した。悪寒は顔面痛痺と 同時に出現した。	
104	B08027856	27	歳	女	意識消失、顔面痛痺、悪 寒、めまい	16:00	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	悪寒、顔面痛痺、めまい、めまいが出現した。悪寒は顔面痛痺と 同時に出現した。	
105	B08028095	12	歳	女	悪寒、顔面痛痺	19:00	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	悪寒、顔面痛痺、めまい、めまいが出現した。悪寒は顔面痛痺と 同時に出現した。	
106	B08028610	8	歳	女	意識消失、中絶不眠症、 不安、多動気分、耳鳴、 落ちつきな女	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	悪寒、顔面痛痺、めまい、めまいが出現した。悪寒は顔面痛痺と 同時に出現した。	
107	B08031483	18	歳	男	悪寒、顔面痛痺、多汗症、意 識レベルの低下、浮動 性めまい、嘔吐	夕方(時刻不 明)	不明	不明(吸入直 後)	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	悪寒、顔面痛痺、めまい、めまいが出現した。悪寒は顔面痛痺と 同時に出現した。	
108	B08028312	7	歳	男	幻覚	12:50	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	悪寒、顔面痛痺、めまい、めまいが出現した。悪寒は顔面痛痺と 同時に出現した。	
109	B08027982	11	歳	女	異常行動	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	悪寒、顔面痛痺、めまい、めまいが出現した。悪寒は顔面痛痺と 同時に出現した。	
110	B08030415	65	歳	男	幻覚	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	悪寒、顔面痛痺、めまい、めまいが出現した。悪寒は顔面痛痺と 同時に出現した。	
111	B08028091	8	歳	男	異常行動、悪寒、意識レ ベルの低下	夕刻(時刻不 明)	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	悪寒、顔面痛痺、めまい、めまいが出現した。悪寒は顔面痛痺と 同時に出現した。	
112	B08028722	13	歳	女	意識レベルの低下、顔 面痛痺、悪寒	18:00	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	悪寒、顔面痛痺、めまい、めまいが出現した。悪寒は顔面痛痺と 同時に出現した。	
113	B08028615	28	歳	女	異常行動、顔面痛痺、悪 寒、めまい	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	悪寒、顔面痛痺、めまい、めまいが出現した。悪寒は顔面痛痺と 同時に出現した。	
114	B08028642	48	歳	男	幻覚	16:00	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	悪寒、顔面痛痺、めまい、めまいが出現した。悪寒は顔面痛痺と 同時に出現した。	
115	B08029025	9	歳	男	異常行動、悪寒、顔面痛 痺	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	悪寒、顔面痛痺、めまい、めまいが出現した。悪寒は顔面痛痺と 同時に出現した。	
116	B08028643	90	歳	女	低血糖症、悪寒、顔面 痛痺、悪寒、視力障害、 恐怖、幻覚	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	悪寒、顔面痛痺、めまい、めまいが出現した。悪寒は顔面痛痺と 同時に出現した。	
117	B08031331	8	歳	女	悪寒、顔面痛痺、多汗症、意 識レベルの低下、浮動 性めまい、嘔吐	11:00	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	悪寒、顔面痛痺、めまい、めまいが出現した。悪寒は顔面痛痺と 同時に出現した。	

異常な行動が記録された事例以外の精神神経系症状事例の追加調査結果

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	リレンザ 使用時期	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就 寝中じゃない:×)	発熱 後に発現	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	回復までの 時間	一時的に 完全回復	体温(発 熱発現時 以内)	意識の 記録	呼吸器 系等の 症状	循環器 系等の 症状	消化器 系等の 症状	その他 の反応	発熱による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する注 記	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたと書いているのか?)	旧資料 No.	
118	B08028844	12	歳	女	異常行動、意識消失、鼻 出血	不明	1回目 不明(導入2時 間後)	不明	不明	不明	不明	不明	高熱(体温 不明)	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	意識消失、鼻出血もあり。 上記と同様の症状。		
118	B08028350	21	歳	男	意識消失	夕方(時刻不 明)	夕方(時刻不 明)	×	no	不明	約30~40分	不明	不明	無	無	不明	不明	不明	無	無	意識消失をきたし、30~40分程度意識がなく、家族があわてて救急車を呼んだ。		
120	B08028028	60代 から	歳	男	幻覚、幻視	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	幻覚、幻視の詳細不明。		
121	B08029314	10	歳	男	嘔吐、昏厥	夜(時刻不 明)	不明	不明	不明	不明	不明	不明	39℃	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	うわごと、ふるえがある。 良覚で寝ている時に発熱の書きしめあ。 上記と同様の症状。		
122	B08029430	9	歳	男	異常行動	不明	1回目 不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	突然意識して顔は赤い顔を見ているが、意識が昏れない、意識のわからないことを書 いていた。現場が昏い顔を見ている。 突然上半身起こしてうわごとを書いていた。		
123	B08032241	8	歳	女	異常行動、譫妄、泣き	13:30	1回目 14:45	×	yes	不明	約15分	yes	39℃	無	無	不明	不明	不明	不明	不明	2回目と同様の症状。 2回目と同様の症状。		
124	B08028846	7	歳	男	幻覚、幻視	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	発熱なし(体 温不明)	無	無	不明	不明	不明	不明	不明	不明	幻覚、幻視(詳細不明)が発現したが、二日後解熱し症状も消失。	
125	B08029875	11	歳	男	意識障害状態	夕(時刻不 明)	1回目 不明	×	no	不明	不明	不明	不明	無	無	不明	不明	不明	不明	不明	暗転から起ちたこと。 突け書き多様様子おかし。		
126	B08028203	成人	歳	男	意識消失	不明	不明	×	no	不明	不明	不明	不明	無	無	不明	不明	不明	不明	不明	本朝を1回吸入、しばらくして意識がなくなり救急車で運ばれた。 急に息が上らなくて天井を揺らして意識不明の言葉を発し、両手を広げ母親を抱え入 れる仕事をする。直ちに休職電。 軽度の意識レベルの低下。		
127	B08030843	7	歳	男	譫妄	21:00	1回目 22:00	○	no	1時間	約10分	yes	40℃	無	不明	不明	不明	不明	不明	不明	急に息が上らなくて天井を揺らして意識不明の言葉を発し、両手を広げ母親を抱え入 れる仕事をする。直ちに休職電。 軽度の意識レベルの低下。		
128	B08029856	13	歳	女	記憶障害	不明	1回目 不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	1回目と同様の症状。 異常行動(昏倒した)、隠れに服が脱ぎました。記憶障害。 1回目と同様の症状。 1回目と同様の症状。 1回目と同様の症状。 1回目と同様の症状。		
128	B08029579	7	歳	男	昏厥、譫妄	22:00	1回目 22:05	×	no	不明	約10分	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	口からアツクを吐いてビクビク、その後意識不明の昏倒。 嘔吐一度あり、その後、顔面チアノーゼとてんかん様の発作出現。顔面は上をみ つめるようであり、手足はちぢまったようであった。2-3分でおさまるが、その後も 意識レベル低下していたため救急車で来院。 来院時、意識レベルIII-100、バイタル安定しているものの意識レベルは痛み刺激 にわずかに反応のみで、呼びかけには応じなかった。ルート確保し、しばらく (30分程度)呼びかけには応じるようになるものを受け書えはできず、顔面顔継続 した。顔面顔で異常なく、血液検査でWBC28900、CRP3.44と炎症所見軽度上昇 以外は異常所見なく入院。 経過観察異常なく、脳波では異常幅様波を認めた。SBT/ABPC(スルバクタム/ア ンピシリン)投与で解熱見られた。 意識消失出現。救急車で搬送、意識消失はすぐに回復、顔面顔するもやや不機 嫌で会話不能のため他の病院へ転送。その後、脳炎の疑いのため入院。転院先 にて、インフルエンザ陽性と診断される。		
130	B08028882	6	歳	男	意識レベルの低下	11:30	14:00	×	no	不明	不明	不明	40.5℃	無	無	無	no	無	無	無	嘔吐一度あり、その後、顔面チアノーゼとてんかん様の発作出現。顔面は上をみ つめるようであり、手足はちぢまったようであった。2-3分でおさまるが、その後も 意識レベル低下していたため救急車で来院。 来院時、意識レベルIII-100、バイタル安定しているものの意識レベルは痛み刺激 にわずかに反応のみで、呼びかけには応じなかった。ルート確保し、しばらく (30分程度)呼びかけには応じるようになるものを受け書えはできず、顔面顔継続 した。顔面顔で異常なく、血液検査でWBC28900、CRP3.44と炎症所見軽度上昇 以外は異常所見なく入院。 経過観察異常なく、脳波では異常幅様波を認めた。SBT/ABPC(スルバクタム/ア ンピシリン)投与で解熱見られた。 意識消失出現。救急車で搬送、意識消失はすぐに回復、顔面顔するもやや不機 嫌で会話不能のため他の病院へ転送。その後、脳炎の疑いのため入院。転院先 にて、インフルエンザ陽性と診断される。		
131	B08030076	9	歳	男	意識消失	11:00	不明	×	no	不明	35分	不明	38.3℃	不明	無	無	不明	不明	不明	不明	意識消失出現。救急車で搬送、意識消失はすぐに回復、顔面顔するもやや不機 嫌で会話不能のため他の病院へ転送。その後、脳炎の疑いのため入院。転院先 にて、インフルエンザ陽性と診断される。		
132	B08030075	8	歳	女	幻覚	不明	不明	×	no	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	任意空間DS中に画面にすいてまわる感じがする。		
133	B08030077	7	歳	男	幻覚	不明	1回目 不明	×	no	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	任意空間DS中に画面にすいてまわる感じがする。		
134	B08030250	9	歳	女	意識消失	不明	不明	×	no	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	任意空間DS中に画面にすいてまわる感じがする。		
135	B08031776	15	歳	男	意識消失 落ち夢遊の少女	不明	不明	×	no	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	任意空間DS中に画面にすいてまわる感じがする。		
136	B08030552	5	歳	女	幻覚	夜(時刻不 明)	夜(時刻不 明)	不明	不明	不明	不明	不明	発熱(体温 不明)	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	幻覚の詳細不明。	
137	B08030689	8	歳	男	譫妄	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	うわごとを言う。	
138	B08031642	10	歳	女	異常行動	20:00頃 夕(時刻不 明)	1回目 22:00頃	不明	不明	不明	約1時間	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	1回目「目がかきいり」で寝て起きてくる。30分おきに寝て起きてくる。 上記と同様の症状。3-4回繰り返す。 起立状態で、顔面顔、気分が暗くなりトイレに向う途中で気分が暗い、くげれる様 に倒れ、その開口部を少し開いた。	
139	B08031174	18	歳	男	意識消失	朝(時刻不 明)	朝(導入直後)	×	no	不明	約10秒	不明	38℃	無	無	不明	不明	不明	不明	不明	不明	起立状態で、顔面顔、気分が暗くなりトイレに向う途中で気分が暗い、くげれる様 に倒れ、その開口部を少し開いた。	
140	B08031644	11	歳	不詳	譫妄	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明		
141	B08031763	11	歳	女	幻覚	不明	1回目 不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明		
142	B08032017	13	歳	男	異常行動	8:00	不明	×	no	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明		
143	B08031647	9	歳	男	幻視	夜(時刻不 明)	夜(時刻不 明)	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明		
144	B08031474	11	歳	男	意識障害状態	夜(時刻不 明)	夜(時刻不 明)	○	no	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明		

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (インフルエンザの効能追加承認(平成10年11月)から平成20年3月31日まで)

平成21年6月16日安全対策調査会
 資料8-2-1

平成21年6月3日タミフル臨床WG
 資料6-2-1

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	備考	追記
1	C99-18560	男性	7歳		アミノフィリン セフトリアキソンナトリウム ツロブテロール 塩酸シプロヘパタジン 塩酸アンブロキシール アセトアミノフェン メフェナム酸	排尿障害 嘔吐 意識レベルの低下 不眠症 錯乱 易興奮性	回復	A型インフルエンザで全身状態が悪く入院。塩酸アマンタジンなど投与開始。翌早朝から、悪寒あり。意識は清明。その後、上肢のふるえ、全身倦怠感あり、本剤投与中止。午後、それまで眠っていたが急に興奮してベッド上で暴れまわる。訳のわからないこともいっている。夕方、落ち着く。	異常-1	
2	B-07009393 (C02-4656)	女性	8歳		フロペナムナトリウム クラリスロマイシン 硫酸セフピロム	情動障害 言葉もれ 運動過多 好中球減少	回復 回復 回復 回復	インフルエンザと診断し、塩酸アマンタジン内服開始。 服用3日目、夕方より計算の低下を認める。 服用4日目、学校で朝礼中に角の方へ突然フラフラと歩く。帰宅後口腔内に異物をくわえている。 情動失禁、多弁、多動見られる。 翌日、本剤中止。 投与中止2日目、情動失禁、飲酒時様の多弁・多動認められる。 投与中止4日目、情動失禁、多弁・多動は回復。発熱なし。	異常-2	
3	B-07015352 (C02-972)	女性	10歳		メフェナム酸 セフジニル	意識変容状態	軽快	服用1日目、発熱あり。塩酸アマンタジン投与。 服用2日目、深夜、41.8℃の発熱。家や部屋をぐるぐる歩き回る。幻視を伴い異常言動あり。入院。 服用3日目、意識清明となる。	異常-3	
4	B-06026877	男性	12歳		アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザと診断し、塩酸アマンタジン投与。4時間後、自宅2階へ上がり、ベランダの柵に足をかけ飛び降りようとしていたため、家人が引き止めた。その後本剤服用しているが、異常行動はみられていない。	異常-4	
5	B-07003835	男性	13歳		アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型陽性にて塩酸アマンタジン処方。同日夜、39.0度、熱さましシートを頭にはった時、シートにバイ菌がついていると言ってはざとり、しばらくボーとして家の中を歩きまわっていた。その後就寝。投与2日目、異常行動はみられなかった。	異常-5	
6	B-07024395	男性	10歳代	50mg	塩酸エピナスチン レボフロキサシン トラネキサム酸 セラペプターゼ 塩酸アンブロキシール d-マレイン酸クロルフェニ ラミン アセトアミノフェン	異常行動 幻覚	不明 不明	塩酸アマンタジン服用1時間後に、よくわからない、聞き取れないことをいい出し、幻覚が起こった。飛び跳ねてどこかに行こうとしたため母親が抑えようとしたが、抑えきれず、父親と2人でも抑えきれなかったため、救急車を呼び入院。検査内容は不明だが、異常ななかったとのこと。	異常-6	2008/4/1以降追加報告
7	B-06008363	男性	17歳		リン酸オセルタミビル	自殺既遂	死亡	オセルタミビル服用し、2時間後に裸足のまま国道に飛び出しトラックにはねられ死亡。 患者はオセルタミビル処方前に塩酸アマンタジンを服用していた。	異常-7	

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)
 (インフルエンザの効能追加承認(平成10年11月)から平成20年3月31日まで)

No.	瓶別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	訂回公表 No.	備考	
8	B-07009707 (C03-2033)	男性	38歳			マレイン酸フルボキサミン セフジニル 塩酸アンプロキシロール 酸化マグネシウム 鎮咳配合剤	錯乱状態 うつ状態	回復 不明	A型インフルエンザを疑い、塩酸アマンタジンなど3日間投与。 投与終了2日後、物忘れがひどい、集中力がない、仕事に支障が出ているとの 主訴で受診。その夜、自宅で急性錯乱状態となる。 自らおかしいと警察へ通報し、警官に付添われ精神科を受診。急に外へとび 出そうとする等がみられたことから、入院となる。	異常-8	
9	B-05001691	男性	81歳			ニトレンジピン フロセミド アロプリノール 塩酸タムスロシン アスピリン ファモチジン 酪酸菌配合剤 エチゾラム	激越 幻覚 錯乱状態	回復 回復 回復	A型インフルエンザのため、塩酸アマンタジン服用開始。 投与2日目、夜間に部屋の中を歩き回ったり、自傷行為をした。 投与5日目、本剤投与中止。その後徐々に回復。	異常-9	
10	C98-18236	女性	99歳			ジアゼパム スピロラク톤 シルニジピン 塩酸プロピペリン ジゴキシン アルファカルシドール	易興奮性 錯乱 幻覚 不安 独語 言葉もれ	死亡	アマンタジン投与開始5日目、目がらんらんとして興奮状態になり幻覚症状に よりベッドの下をのぞき込む動作が何度も見られた。 投与7日目朝、ベッドの柵をはずし、たちあがったり、不穏状態。 投与8日目朝、ベッドから転落、顔部裂傷・打撲、右手打撲。 投与9日目朝、ベッド上座位にしてもすぐに横にくずれる。 投与10日目朝、ベッド上ぐるぐる回りベッドのさくに顔をはさんだり、体動が 激しくなって、独語が多くなる。 投与11日目午後、多弁、ベッド上体動が激しい。本剤投与中止。 投与中止1日目の早朝も入眠せず体動が多い。 投与中止2日目の朝、多弁で体動が活発、ベッドから降りようとする。 投与中止4日目の朝、訪室の際に、ベッドの鉄さくの間より頭～肩～腕を突っ 込んで上半身垂れ下がった状態で発見される。呼吸停止、顔面(四肢)のチ アノーゼ著明。3時間後、永眠。	異常-10	

※:継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発現した事例
*:継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢/年齢 数値/単位	性別	PT名称	シナプレール 服用日付・時刻	異常な行動(有害事象)発 現日付・時刻	観察中か否か (観察中:○、観 察中じゃない:×)	発熱直 後に発現	観察中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	一回りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家族歴	光に対する 反応	聴覚による 「異常な行 動」の制作 用器	異常な行動に関 する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか?)	旧資料No
1	C99-18560	7歳	男性	不眠症NEC	2000/1/14- 1/15	2000/1/15 1:30	不明	不明	同日	不明	2000/1/13:40℃前後 2000/1/15(01:30):40℃ (07:30):38.2℃ (09:00):38.4℃ (12:00):37℃ (14:40):37.4℃ (17:30,20:30):37℃台	不明	不明	不明	不明	不明	不明	服せず。悪夢あり。 加齢したまま、新感情、体を揺さぶって反応する(JSC-II-20)。その後、普通の呼びか けに反応して退室する(JSC-II-10~1-3)。	1
				意識レベルの低下		2000/1/15 3:45	不明	不明	同日	不明									
				抑うつ 抑うつ 抑うつ 抑うつ		2000/1/15 7:30 2000/1/15 9:00 2000/1/15 14:40 2000/1/15 14:40	不明 不明 ○ ○	不明 不明 不明 不明	同日 同日 同日 同日	不明 不明 不明 不明									
				注意欠陥 運動過多 衝動障害		2000/1/21 夕方 2000/1/22 9:00 2000/1/22 17:00	× × ×	× × ×	5日 4日 4日	○ 不明 不明									
2	07009393	7歳	女性	注意欠陥 運動過多 衝動障害	2000/1/19 18:00 1/21 8:00,18:00 1/22 8:00	2000/1/22 17:00	×	×	4日	不明	2000/1/19(発熱あり)	なし	不明	不明	なし	なし	計算力の低下を認める。 学校で朝礼中に角の方へ突然フラフラと歩く。帰宅後口腔内に異物をくわえているのを 父親が見つける。計算力の低下も依然認められた。 衝動失禁、多弁が発現。 発達中、衝動失禁、多弁、多動見られる。元来は口数少ないおとなしい子で、あたかも 状態による多弁多動に類似していた。 その他、患者には、室の中をぐるぐる歩き(走り)まわるといった異常な行動も認められ た。	2	
				言葉もれ		2000/1/22 17:00	×	×	4日	不明									
				不安神経症		2000/1/24 不明	×	×	3日	不明									
				意識障害状態		2000/1/10- 1/14 2007/3/28 11:30	不明 不明(投与から 12時間後)	不明 不明	不明 不明	不明 不明									
3	C02-972 (07015352)	10歳	女性	意識障害状態	2000/1/10- 1/14 2007/3/28 11:30	2007/3/28 15:30	×	不明	2日	○	2000/1/10:38.6℃ 2007/3/27夜:39℃ 3/28午前:38.2℃、18:00: 38.2℃ 2007/4/25(22:00): 38.2℃ 4/26(7:00):39.8℃、12: 00:38.3℃、21:00:39℃	なし	不明	不明	不明	なし	家や廊下の中をぐるぐる歩きまわる。幻覚を伴って、「おもちゃの箱から何がでてる」 などの異常言動があり、入院。 2階へ上がり、スラッパのフックに足をかけ、飛び降りようとしていた。家人が発見、室内 へ連れ戻す。	3	
						2007/4/26 21:00	×	○	1日	不明									
4	08026877	12歳	男性	異常行動	2007/3/28 11:30	2007/3/28 15:30	×	不明	2日	○	2007/4/25(22:00): 38.2℃ 4/26(7:00):39.8℃、12: 00:38.3℃、21:00:39℃	なし	有	有	なし	なし	有	睡眠から覚醒後に、動きまわらなくなった時、シートにバイ菌がついていると言っ てはきり、しばらくボーとして家の中を歩きまわっていた。	5
5	07003635	13歳	男性	異常行動	2007/4/26 14:00頃	2007/4/26 21:00	×	○	1日	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	服用1時間後よりよくわからないことを言い出し、幻覚が頻発。飛び出しているところた ため面糊で抑えようとしたが抑えきれず、救急搬送され同日より入院。	6
6	07024395	14歳	男性	異常行動 幻覚	2008/1/25 11:00頃、 21:00	2008/1/25 22:00	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	自宅での1時間より急性躁動状態になる。自らおかしいと警告へ通報し、警署に送られ 当該精神科病院を受診。「自分は何をするか分からない」「おかしな感じがする」「殺 してしまおう」「殺されてしまおう」と言って、急に外へと出ようとする等がみられた。 物忘れがひどい、集中力がない、仕事に支障が出ているとの主訴で入院(精神科)を受診	7
7	06008363	17歳	男性	自殺気運	不明	2004/2 不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	自殺で1時間より急性躁動状態になる。自らおかしいと警告へ通報し、警署に送られ 当該精神科病院を受診。「自分は何をするか分からない」「おかしな感じがする」「殺 してしまおう」「殺されてしまおう」と言って、急に外へと出ようとする等がみられた。 物忘れがひどい、集中力がない、仕事に支障が出ているとの主訴で入院(精神科)を受診	8
8	07009707	38歳	男性	躁動状態	2003/1/25- 1/27	2003/1/29 21:00	×	×	1日	不明	2003/1/28:39.5℃	有	なし	なし	なし	なし	なし	自覚で1時間より急性躁動状態になる。自らおかしいと警告へ通報し、警署に送られ 当該精神科病院を受診。「自分は何をするか分からない」「おかしな感じがする」「殺 してしまおう」「殺されてしまおう」と言って、急に外へと出ようとする等がみられた。 物忘れがひどい、集中力がない、仕事に支障が出ているとの主訴で入院(精神科)を受診	9
				うつ病		不明	不明	不明	不明	不明									
9	5001891	81歳	男性	幻覚 躁動状態 躁動状態 躁動状態	2005/2/23 18:30 2/24-2/26 8:30,18:30	2005/2/24 0:00頃 2005/2/24 0:00頃 2005/2/24 0:00頃	○ ○ ○	×	3時間位 3時間位 3時間位	3日 3日 2日	2005/2/22(10:00): 38.5℃、(18:00):37.9℃、 2/23(15:00):38.7℃	不明	不明	不明	不明	不明	不明	自覚で1時間より急性躁動状態になる。自らおかしいと警告へ通報し、警署に送られ 当該精神科病院を受診。「自分は何をするか分からない」「おかしな感じがする」「殺 してしまおう」「殺されてしまおう」と言って、急に外へと出ようとする等がみられた。 物忘れがひどい、集中力がない、仕事に支障が出ているとの主訴で入院(精神科)を受診	10
				躁動状態 躁動状態 躁動状態 躁動状態		1999/2/20 不明 1999/2/20 不明 1999/2/20 不明 1999/2/20 不明	不明 不明 不明 不明	不明 不明 不明 不明	不明 不明 不明 不明										
10	C98-18236	89歳	女性	躁動状態 躁動状態 躁動状態 躁動状態	1999/2/15- 2/25	1999/2/25 6:30 1999/2/26 15:30	不明 不明 不明 不明	不明 不明 不明 不明	不明 不明 不明 不明	不明 不明 不明 不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	自覚で1時間より急性躁動状態になる。自らおかしいと警告へ通報し、警署に送られ 当該精神科病院を受診。「自分は何をするか分からない」「おかしな感じがする」「殺 してしまおう」「殺されてしまおう」と言って、急に外へと出ようとする等がみられた。 物忘れがひどい、集中力がない、仕事に支障が出ているとの主訴で入院(精神科)を受診	10	
				躁動状態 躁動状態 躁動状態 躁動状態		1999/2/20 不明 1999/2/20 不明 1999/2/20 不明 1999/2/20 不明	不明 不明 不明 不明	不明 不明 不明 不明	不明 不明 不明 不明										

塩酸アマンタジンの異常な行動が記録されている事例の集計

平成21年6月16日安全対策調査会
資料8-2-3

平成21年6月3日タミフル臨床WG
資料6-2-3

1.患者年齢別①

	症例数 (%)	
10歳未満	2	20%
10代	5	50%
20代	0	0%
30代	1	10%
40代	0	0%
50代	0	0%
60代	0	0%
70代	0	0%
80代	1	10%
90代	1	10%
小計	10	100%
不明	0	
総計	10	

患者年齢別②

	症例数 (%)	
6歳以下	0	0%
7歳から9歳	2	20%
10歳から12歳	2	20%
13歳から15歳	2	20%
16歳から18歳	1	10%
19歳以上	3	30%
小計	10	100%
不明	0	
総計	10	

2.性別

	症例数 (%)	
女性	3	30%
男性	7	70%
小計	10	100%
不明	0	
総計	10	

塩酸アマンタジンの異常な行動が記録されている事例の集計

3.インフルエンザウイルス型別

	症例数 (%)	
A型インフルエンザ	9	100%
A&B型インフルエンザ	0	0%
B型インフルエンザ	0	0%
小計	9	100%
型不明	1	
総計	10	

4.異常な行動の発現時期別①(年別)

	症例数 (%)	
1998	0	0%
1999	1	10%
2000	3	30%
2001	0	0%
2002	0	0%
2003	1	10%
2004	1	10%
2005	1	10%
2006	0	0%
2007	2	20%
2008	1	10%
小計	10	100%
不明	0	
総計	10	

異常な行動の発現時期別②(シーズン別)

	症例数 (%)	
1998-1999シーズン	1	10%
1999-2000シーズン	3	30%
2000-2001シーズン	0	0%
2001-2002シーズン	0	0%
2002-2003シーズン	1	10%
2003-2004シーズン	1	10%
2004-2005シーズン	1	10%
2005-2006シーズン	0	0%
2006-2007シーズン	2	20%
2007-2008シーズン	1	10%
小計	10	100%
不明	0	
総計	10	

シーズン；8月から7月

塩酸アマンタジンの異常な行動が記録されている事例の集計

5.インフルエンザ発症から異常な行動の発現までの病日

病日	総計 (%)	
1日	1	13%
2日	3	38%
3日	2	25%
4日	1	13%
5日	1	13%
6日	0	0%
7日	0	0%
小計	8	100%
不明	2	
総計	10	

6.最初の投与から異常な行動の発現までの時間

	症例数 (%)	
1時間未満	0	0%
1時間以上2時間未満	0	0%
2時間以上3時間未満	0	0%
3時間以上4時間未満	0	0%
4時間以上5時間未満	1	13%
5時間以上6時間未満	1	13%
6時間以上12時間未満	2	25%
12時間以上24時間未満	1	13%
24時間以上48時間未満	0	0%
48時間以上	3	38%
小計	8	100%
不明	2	
総計	10	

7.直前の投与から異常な行動の発現までの時間

	症例数 (%)	
30分未満	0	0%
30分以上1時間未満	0	0%
1時間以上2時間未満	2	25%
2時間以上3時間未満	0	0%
3時間以上4時間未満	0	0%
4時間以上5時間未満	1	13%
5時間以上6時間未満	2	25%
6時間以上12時間未満	1	13%
12時間以上	2	25%
小計	8	100%
不明	2	
総計	10	

塩酸アマンタジンの異常な行動が記録されている事例の集計

8.異常な行動の直前の体温①(6時間以内)

	症例数 (%)	
36度台	0	0%
37度台	1	25%
38度台	2	50%
39度台	1	25%
40度以上	0	0%
41度以上	0	0%
小計	4	100%
不明	6	
総計	10	

異常な行動の発現時の体温の経過②

	症例数 (%)	
発熱持続	1	25%
解熱過程	2	50%
解熱後	1	25%
小計	4	100%
不明	6	
総計	10	

9.異常な行動の発現時刻別

	症例数 (%)	
0時から6時まで	2	25%
6時から12時まで	1	13%
12時から18時まで	2	25%
18時から24時まで	3	38%
小計	8	100%
不明	2	
総計	10	

10.就寝から異常な行動の発現までの時間

	症例数 (%)	
30分未満	0	0%
30分以上1時間未満	0	0%
1時間以上2時間未満	0	0%
2時間以上3時間未満	0	0%
3時間以上4時間未満	1	100%
4時間以上5時間未満	0	0%
5時間以上	0	0%
小計	1	100%
不明	9	
総計	10	

塩酸アマンタジンの異常な行動が記録されている事例の集計

11.異常な行動の発現が就寝中か否か

	症例数 (%)	
Yes	2	33%
No	4	67%
小計	6	100%
不明	4	
総計	10	

12.異常な行動の発現が覚醒直後か否か

	症例数 (%)	
Yes	1	25%
No	3	75%
小計	4	100%
不明	6	
総計	10	

13.異常な行動が一眠りして回復したか否か

	症例数 (%)	
Yes	2	67%
No	1	33%
小計	3	100%
不明	7	
総計	10	

14.異常な行動に関する患者の記憶の有無

	症例数 (%)	
有	1	25%
無	3	75%
小計	4	100%
不明	6	
総計	10	

15.光に対する反応の有無

	症例数 (%)	
有	0	0%
無	2	100%
小計	2	100%
不明	8	
総計	10	

塩酸アマンタジンの異常な行動が記録されている事例の集計

16.睡眠時驚愕症又は睡眠時遊行症の既往歴の有無

	症例数 (%)	
有	1	33%
無	2	67%
小計	3	100%
不明	7	
総計	10	

17.睡眠時驚愕症又は睡眠時遊行症の家族歴の有無

	症例数 (%)	
有	1	33%
無	2	67%
小計	3	100%
不明	7	
総計	10	

18.異常な行動の回復までの時間

	症例数 (%)	
30分未満	0	0%
30分以上1時間未満	0	0%
1時間以上6時間未満	0	0%
6時間以上24時間未満	1	20%
24時間以上	4	80%
小計	5	100%
不明	5	
総計	10	

19.異常な行動発現後に投与を継続した症例の状況

	症例数 (%)	
異常な行動 ^{注)} の発現あり	1 ¹⁾	25%
異常な行動 ^{注)} の発現なし	3	75%
小計	4	100%
投与中止	4	
投与状況不明	2	
総計	10	

注) 異常な行動を含む精神神経系症状

1) 症状の持続症例

20.他剤による同様な副作用歴の有無

	症例数 (%)	
有	0	0%
無	3	100%
小計	3	100%
不明	7	
総計	10	

塩酸アマンタジンの異常な行動が記録されている事例の集計

21.熱性痙攣の既往歴の有無

	症例数 (%)	
有	0	0%
無	0	0%
小計	0	0%
不明	10	
総計	10	

22.熱性痙攣の家族歴の有無

	症例数 (%)	
有	0	0%
無	0	0%
小計	0	0%
不明	10	
総計	10	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(インフルエンザの効能追加承認(平成10年11月)から平成20年3月31日まで)

平成21年6月16日安全対策調査会
資料8-2-5

平成21年6月3日タミフル臨床WG
資料6-2-5

No.	識別番号	性別	年齢	日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	11回/12回	備考
1	C01-3885	女性	10ヶ月		エリスロマイシン	不機嫌 嘔吐 痙攣	回復	塩酸アマンタジンを昼頃服用。夕方に嘔吐発現。夜に痙攣発現。翌日平常に戻った。	異常以外-1	
2	C01-8917	男性	1歳			傾眠	軽快	インフルエンザA型陽性、B型陽性のため、塩酸アマンタジンの投与開始。投与3日目、朝より傾眠傾向あり入院。投与5日目、本剤中止。投与中止6日目ほぼ完全に覚醒。	異常以外-2	
3	C02-8872	女性	1歳		塩酸シプロヘプタジン ラクタミン 臭化水素酸デキストロメルファン	意識レベルの低下 蒼白	回復	インフルエンザA型と診断し、塩酸アマンタジン投与開始。投与8日目、意識障害、顔面蒼白が発現。本剤投与中止。投与中止1日後・3日後、意識障害、顔面蒼白が発現。	異常以外-3	
4	B-07000484	男性	1歳		クラリスロマイシン 塩酸ツロブテロール ツロブテロール アセトアミノフェン	意識変容状態 痙攣 刺激無反応	回復 回復 回復	インフルエンザにて、塩酸アマンタジン投与開始。本剤服用1時間後、急に泣き出し、痙攣を起こし、名前を呼んでも反応しなかった。翌日、朝本剤内服し、1時間後、同様の症状有り、本剤投与中止。その後、意識障害、痙攣なし。	異常以外-4	
5	C99-19982	女性	2歳		塩酸セフカベンピボキシル ヒベンス酸チベピジン カルボシステイン 塩酸プロムヘキシン	脳症 痙攣	軽快	インフルエンザの診断でアマンタジンを投与。投与開始2日目、15分以上の痙攣出現。入院。以後ずっと入眠しており脳症を疑う。本剤中止し、翌日、頭部CTにて梗塞像あり。3日後、開眼するようになる。投与中止8日後、徐々に歩行出来るようになる。	異常以外-5	
6	C00-2213	女性	2歳		ヒベンス酸チベピジン 塩酸シプロヘプタジン 塩酸プロカテロール カルボシステイン	痙攣	軽快	A型インフルエンザで塩酸アマンタジンなど投与開始。投与6日目、解熱。その後、けいれん出現。	異常以外-6	
7	C02-8261	女性	2歳			間代性痙攣	回復	インフルエンザA型と診断し、塩酸アマンタジン投与開始。その夜、強直性・全身性のけいれんが約30分持続した。その20分後、救急受診。末梢のチアノーゼあり。	異常以外-7	
8	C02-9348	男性	2歳			血中クレアチンホスホキナーゼ増加 浮動性めまい	軽快	インフルエンザAと診断され、アマンタジン処方。投与2日目、アマンタジン内服したが、直後に嘔吐があったため、2時間半後に再度内服した。夜には解熱し、元気が出てきたが、立つと痛み、歩行できず。投与3日目、ボーっとしていることが多く、近医を受診。ふらつきも認め、本剤中止。投与中止2日後、起立時、開脚時の痛みは消失。つかまり立ち可。投与中止9日後、ふらつき消失。	異常以外-8	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
 (インフルエンザの効能追加承認(平成10年11月)から平成20年3月31日まで)

No.	症例番号	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回公表 No.	備考
9	C00-1834	女性	3歳			意識レベルの低下 脂質代謝障害	回復	発熱、咳、腹痛等あり、塩酸アマンタジンなど投与開始。 投与開始4日目。午前、前日夕方よりぐったりしており、傾眠傾向で夜中にミルク150ml飲んだだけとのことで、インフルエンザ脳症疑いで、病院へ搬送入院となる。入院時血糖67mg/dl、尿ケトン体(+++)であったが、入院時は意識清明で、CT、EEG異常なし。ケトン性低血糖の疑いと診断。 投与開始6日目、本剤投与終了。 投与終了2日後、昼。急に暴れだし、尿失禁後昏睡状態になる。その15分後、来院。傾眠傾向、血糖25mg/dlで入院加療となる。糖液静注後、意識障害改善。	異常以外-9	
10	C00-2573	男性	3歳			意識消失 蒼白 末梢冷感	回復	発熱あり、塩酸アマンタジンの投与開始。 投与開始2日目の夕方 本剤服用1時間後 顔面蒼白となる。四肢冷感を伴うが、意識は正常。その1時間後、回復する。 投与開始5日目の朝 本剤服用。昼、顔面蒼白となり眠り出す。たたいてもおきず、応答なし、四肢冷感も伴った。 その後、近医を受診。徐々に顔色回復し、眼はさめたがもうろうとしていた。四肢冷感消失。夕方 正常に回復した。	異常以外-10	
11	C01-1290	男性	3歳			熱性痙攣	回復	発熱あり、インフルエンザと診断し、塩酸アマンタジン処方。 本剤1回服用後、けいれん発現。けいれんはすぐに治まる。	異常以外-11	
12	C01-1302	男性	3歳			意識レベルの低下 眼筋麻痺	回復	インフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン服用2時間後に意識障害。眼筋麻痺あり。 その30分後には意識清明となる。 翌日患者は、昨日のことを覚えていなかった。	異常以外-12	
13	C03-741	男性	3歳			痙攣	軽快	発熱のため姉が内服していたアマンタジンを親の判断で服用させた。 翌日、1点凝視、ボンヤリとしたけいれんを認める。 翌々日、意識鮮明。	異常以外-13	
14	B-07007523	女性	3歳			大脳障害 脳症	後遺症 後遺症	38度の発熱。興奮気味で多弁となった。 発熱が3日間続き、活気なく、傾眠傾向あり。インフルエンザA型陽性。脳波検査、頭部CT等によりインフルエンザ脳症と診断し、塩酸アマンタジン投与開始。 投与2日目、解熱するも、会話成立せず、反響語のみ。 投与3日目、MRI画像にて、異常信号あり。	異常以外-14	
15	C01-2067	女性	4歳			幻覚 情動障害	回復	インフルエンザA型と診断し、塩酸アマンタジン処方。その夜、幻覚、情動障害出現。その2時間後、受診するも意識清明、神経症状なし。	異常以外-15	
16	B-04026544	男性	4歳			幻覚 錯乱状態	不明 不明	インフルエンザにて、塩酸アマンタジン投与開始。 投与2日目、幻覚、錯乱の症状があらわれた。	異常以外-16	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
 (インフルエンザの効能追加承認(平成10年11月)から平成20年3月31日まで)

No.	個別番号	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回のNo.	備考
17	B-05001694	男性	4歳			悪夢 幻覚	不明 不明	インフルエンザに対して、塩酸アマンタジンを1回だけ投与。 2か月経過しているが、夜に変な夢や幻覚をみることがある。	異常以外-17	
18	B-07000483	男性	5歳		クラリスロマイシン 塩酸ツロブテロール ツロブテロール アセトアミノフェン	意識変容状態 幻覚 恐怖	回復 回復 回復	A型インフルエンザに対し、塩酸アマンタジンを服用し、1時間後、急に目を 覚まし電灯を怖がり大泣きした。投与2日目、本剤内服後に同様な症状が みられたため、投与中止。 その後、意識障害、幻覚なし。	異常以外-18	
19	C99-19973	男性	5歳		クラリスロマイシン	幻覚 振戦	回復	インフルエンザとの診断で、塩酸アマンタジン処方。 その日の夕方、手指振戦、脈絡のない言動出現したため入院。意味不明な 発言を認め、意識障害あり。本剤中止。 翌日夕方ごろまでは意味不明の言動が見られたが、その後は認められず。	異常以外-19	
20	C03-327	男性	5歳		塩酸アンプロキシソール ヒベンズ酸チベピジン 塩酸シプロヘプタジン アセトアミノフェン テオフィリン 塩酸ツロブテロール	幻聴	軽快	インフルエンザが疑われ、塩酸アマンタジン処方。 投与2日目、会話内容がおかしくなり、意識もうろう状態となり受診。本剤中 止。 投与中止1日後、昼頃まで会話に疎通性がなかった。その後、意識状態清 明。	異常以外-20	
21	B-04010015	男性	5歳		アセトアミノフェン	譫妄	回復	発熱あり、インフルエンザで、塩酸アマンタジン処方。同日夜 けいれんあ り。 投与2日目、朝、目は開けているが、寝ぼけたような様子で意味のわからな いことを話していた。手を上に上げて動かすなどの行動も見られた。また、 けいれん発現。夜にも同様の症状があった。投与3日目以降は症状見られ ず。	異常以外-21	
22	C99-19976	男性	6歳		セファクロル ヒベンズ酸チベピジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン アセトアミノフェン	痙攣	軽快	臨床症状からインフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン処方。 昼 本剤内服後仮眠し、その約3時間後覚醒し、上肢硬直、口唇をかんで、 眼球前方固視する。呼びかけに反応なかった。 その後受診。意識清明、髄膜刺激症状なし。CT異常なし。本剤投与中止。 その後はけいれん、せん妄など認めず。	異常以外-22	
23	C02-973	女性	6歳		ジアゼパム カルバマゼピン	意識レベルの低下	軽快	インフルエンザA型のため、塩酸アマンタジンの投与18時間後、応答が鈍い ため入院。 翌日、意識清明となった。	異常以外-23	
24	C02-1168	女性	6歳		塩酸シプロヘプタジン 塩化リソチーム 臭化水素酸デキストロメ トルファン dl-塩酸メチルエフェドリン	熱性痙攣	回復	熱性痙攣の既往あり。 発熱あり、塩酸アマンタジン内服。約1時間後、1分間の持続痙攣、続いて嘔 吐あり。その後、受診し、意識混濁持続。 投与2日目、傾眠。本剤の内服を続けるも痙攣なし。	異常以外-24	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
 (インフルエンザの効能追加承認(平成10年11月)から平成20年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	訂正公表 No.	備考
25	C99-19983	女性	7歳			意識レベルの低下 会話障害 筋痛 筋脱力 振戦	回復	発熱あり、塩酸アマンタジン処方される。その日の夜、右手翼状振戦5~6回、視線合わず、呼びかけても反応しない。意識障害に気づく。その後、当院受診。意識やや混濁。うなづく動作は可能だが言語不。全身の筋力低下。本剤中止。 投与終了1日後、夜中に小さなすれ声が一音のみ出る。発声は徐々に増加。	異常以外-25	
26	C01-1887	男性	7歳		レバミピド 塩酸ロメフロキサシン セラペプターゼ アセトアミノフェン	意識レベルの低下 痙攣	回復	発熱あり、塩酸アマンタジン処方。 投与2日目、全身強直性けいれんとチアノーゼ出現。本剤中止。 投与中止1日後、症状再発なし。	異常以外-26	
27	C02-8882	男性	8歳			錯乱状態	回復	夕方、塩酸アマンタジンを1回目飲ませたが吐いたため、2回目をまたすぐに飲ませた。しかし、そのときも吐き、3回目でやっと吐かずに飲ませた。服用30分後、錯乱状態とより、暴れたため、受診した。 服用1時間後、錯乱したことは覚えていなかった。 翌日、何もなかったように落ち着く。	異常以外-27	
28	B-04025396	男性	8歳			脳症	死亡	塩酸アマンタジンを服用した小児が発症後1-2日目にインフルエンザ脳症で寝ている間に突然死した。	異常以外-28	
29	C03-742	女性	9歳		ヒベンズ酸チベピジン カルボシステイン アセトアミノフェン	急性ストレス反応 幻覚 不安 譫妄	回復	臨床症状からインフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン処方。 投与4日後の昼、同じ会話をくり返す。変な会話、幻覚あり、不安状態。その夕、受診し、本剤中止。 投与中止3日後、会話のくり返しはなくなり、表情も眠気から醒めたようにしっかりしてくる。 投与中止6日後、自ら歩行するようになる。意識、会話はアマンタジン内服前と同じ状態に回復した。	異常以外-29	
30	C03-1469	男性	9歳		d1-マレイン酸コロルフェ ニラミン プラノプロフェン	活動性低下 無力症	未回復	インフルエンザにて、塩酸アマンタジン処方。 投与2日目、顔色不良、ぐったりする。	異常以外-30	
31	B-07002880	女性	9歳		アジスロマイシン水和物 塩酸クレンブテロール 塩酸アンブロキシソール	異常行動 意識レベルの低下 ジスキネジー	不明 回復 不明	投与1日目、両手をもがくようになり、視線が合わず、右方上位を凝視したりする。氏名、学年は答えるが、今日の日付には答えない。その後父親とはスムーズに会話している。	異常以外-31	
32	B-08012973	男性	10歳未満	不明		幻視	軽快	塩酸アマンタジン服用開始から10時間後に幻視(お化けが見える)が見られた。症状は一過性であった。		2008/4/1以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
 (インフルエンザの効能追加承認(平成10年11月)から平成20年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	経過	経過の注	前回公表	備考
33	C02-4300	男性	10歳		セフテラムピボキシシル 塩化リゾチーム メフェナム酸	幻覚	回復	臨床的にインフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン投与開始。 投与2日目、幻覚、幻視が出現。1日に数回認められた。本剤中止。 投与中止1日後、解熱し、感冒様症状は軽快したが、その後も1日に1-2回の幻視を認めた。 投与中止10日後、上記の症状が持続するため、小児科を受診。明らかな神経学的所見を認めなかったが、脳波検査中も幻視が出現した。	異常以外-32	
34	C02-9361	男性	10歳		メクロブラミド برانلカスト水和物	ジスキネジー 錐体外路障害	回復	インフルエンザA型にて、塩酸アマンタジンを処方。 投与3日目、昼、口腔内の痛み。夕、左顎下痛、後頸部痛出現。夜、夜間救急外来受診。四肢の不随意運動が出現したが、ジアゼパム投与で鎮静化。頭部CTで所見なし。	異常以外-33	
35	C03-745	男性	10歳			痙攣	軽快	発熱あり、インフルエンザの診断で塩酸アマンタジン処方。 投与4日目、嘔吐、その後うつ伏せに倒れ、眼球上転、口から泡をふき強直性けいれんを1分ほどおこし、救急搬送となる。車内で意識は回復したが、傾眠傾向がつづいた。 本剤中止翌日、意識清明となる。	異常以外-34	
36	B-05006431	女性	10歳		塩酸アンピロキソール アスピリン d-マレイン酸クロルフェニラミン アセトアミノフェン	意識レベルの低下 幻覚	回復 回復	A型インフルエンザにて夜から塩酸アマンタジン投与開始。 翌日、20分ほど持続する幻覚、意識障害が出現。本剤投与中止。その後回復。	異常以外-35	
37	B-06026745	女性	10歳		ヒベンズ酸チベピジン カルボシステイン ツロプテロール	ムンプス 幻覚	不明 軽快	インフルエンザA型にて塩酸アマンタジン投与開始。同日より目の調節障害発現。	異常以外-36	
38	C01-1124	男性	12歳		セフボドキシムプロキセチル サリチルアミド、アセトアミノフェン、無水カフェイン、メチレンジサリチル酸プロメタジン配合剤 塩酸クロフェダノール	意識消失 痙攣	回復	発熱あり、インフルエンザと診断、塩酸アマンタジン投与開始。深夜、全身痙攣発作が発現し、救急搬送された。点滴加療中、約30分、意識なし。約3時間点滴で様子観察し、帰宅。	異常以外-37	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
 (インフルエンザの効能追加承認(平成10年11月)から平成20年3月31日まで)

No	症例番号	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回公表 No	備考
39	C02-998	女性	13歳		スルピリン 臭化水素酸デキストロメ トルファン 塩酸アンプロキシソール セファクロル 塩酸ジサイクロミン・水酸 化アルミニウムゲル・酸化 マグネシウム配合剤	意識レベルの低下 痙攣	回復	発熱あり、アマンタジンを処方。 夕方、処方薬を服用後、20-30分で痙攣様発作、目が白目となりショック様 となり、数分で消失した。本剤投与中止。	異常以外-38	
40	C01-2984	男性	14歳			悪性症候群	回復	A型インフルエンザ脳症と診断され、塩酸アマンタジンによる治療開始。 投与5日目、意識はほぼ正常になり、Cr値も低下したので、本剤終了。 投与終了1日後、突然発熱、意識障害が発現し、筋固縮が増強。 本剤中断による悪性症候群を疑い、塩酸アマンタジンを再度投与したとこ ろ、発熱、意識障害、筋固縮は速やかに消失した。	異常以外-39	
41	B-08029135	不明	小児	不明		言葉もれ	不明	インフルエンザによる高熱にて、塩酸アマンタジン5日間服用。 服用から5日目、インフルエンザは治ったが、もともと口数の少ない子供が 急によく話すようになった。		2008/4/1以降 新規報告
42	B-05003287		16歳		セフトレキシム ソファロン フマル酸ケトチフェン ブランルカスト水和物	意識レベルの低下 痙攣	回復 回復	A型インフルエンザに対して、塩酸アマンタジン投与開始。 本剤2回目の内服後、約3時間後に意識障害と痙攣出現し、入院。 脳波の検査:正常。	異常以外-40	
43	B-07001016	男性	19歳		なし	意識消失 異常行動	回復 回復	A型インフルエンザで、塩酸アマンタジンを5日分処方。 投与2日目、時々意識がなかった。 投与6日目、ロープを購入するなどの異常行動が目立つようになった。 13日後、MRI検査するも神経学的異常なし。	異常以外-41	
44	C02-3035	男性	27歳		ジクロフェナクナトリウム 塩化リゾチーム セフジニル シンナリジン	悪寒 浮動性めまい	不明	塩酸アマンタジン服用5時間後、悪寒とふらつきが出現。 本剤服用9時間後、再診。再診時には悪寒のみあり。本剤中止。	異常以外-42	
45	C99-19981	女性	28歳		マレイン酸フルボキサミン ロフラゼン酸エチル エスタゾラム ジアゼパム プロチゾラム	人格障害 精神症状	不明	性格障害、不眠、自律神経失調症等のため通院加療中。 塩酸アマンタジン投与開始。 投与開始2日目、多重人格障害が発現。 投与開始3日目、母親と来院。以前より狂暴化していたが、人格は本人に 戻っていた。	異常以外-43	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
 (インフルエンザの効能追加承認(平成10年11月)から平成20年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回公表 No.	備考
46	B-07010392 (C03-322)	男性	29歳		酢酸ミデカマイシン アスピリン・ダイアルミ ネート	知覚過敏 振戦 激越 落ち着きのなさ 失見当識 尿閉 昏迷 食欲不振 薬物相互作用	回復 回復 回復 回復 回復 不明 不明	インフルエンザと診断され、アマンタジンを処方。 投与開始5日目、立てない、不穏などの症状があり、興奮状態であったため、入院となった。知覚過敏、振戦も認められた。 本剤中止後回復。	異常以外-44	
47	C02-1500	女性	20歳代		アセトアミノフェン	意識レベルの低下	回復	インフルエンザA型に対し、塩酸アマンタジンを処方したところ、意識障害が発現し、救急搬送された。患者はその後回復した。	異常以外-45	
48	C02-1501	女性	20歳代		アセトアミノフェン	意識レベルの低下	不明	インフルエンザA型に対し、塩酸アマンタジンを処方したところ、意識障害が発現し、救急搬送された。患者はその後回復した。	異常以外-46	
49	C00-358	女性	33歳		セフジニル メフェナム酸 塩酸プロムヘキシ ン プロナーゼ ポビドンヨード ジクロフェナクナトリウム 麻黄湯	てんかん	回復	インフルエンザで塩酸アマンタジン服用開始。 投与3日目の夜、本剤服用3時間後と5時間後に発作発生。	異常以外-47	
50	B-04000316	女性	33歳		非ピリン系感冒剤(4) セラペブターゼ プラノプロフェン 塩酸ミノサイクリン 塩酸アンプロキシソール ポビドンヨード 鎮咳配合剤(1) 桜皮エキス	譫妄	軽快	インフルエンザと診断し、塩酸アマンタジン処方。 服用5日目、譫妄症状発現し入院。インフルエンザ抗原キットによる検査陰性。 服用6日目、本剤中止。 服用中止5後、譫妄症状改善。 服用中止13日後、退院となるも軽い精神症状は持続した。	異常以外-48	
51	C12583	男性	35歳		マレイン酸エナラプリル ベシル酸アムロジピン フロセミド サリチルアミド、アセトアミ ノフェン、無水カフェイン、 メチレンジサリチル酸プロ メタジン 塩酸セトラキサート 塩酸ロメフロキサシン	悪性症候群	軽快	慢性糸球体腎炎で外来通院中。 感冒症状あり、塩酸アマンタジンなど処方。 投与開始5日目より、手の振戦、異常感覚が出現し、本剤投与中止。翌日、 精神錯乱状態となり入院。 投与中止4日後、意識障害、筋硬直痙攣出現し、悪性症候群と診断される。	異常以外-49	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
 (インフルエンザの効能追加承認(平成10年11月)から平成20年3月31日まで)

No.	症例番号	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回公表 No.	備考
52	C03-519	女性	37歳		ロキソプロフェナトリウム	意識レベルの低下	回復	インフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン3日間内服。 投与終了3日後、異常言動出現。 投与終了6日後、意識改善。	異常以外-50	
53	B-04008730	男性	39歳			錯乱状態	不明	インフルエンザの治療に本剤を1回処方。錯乱発現。	異常以外-51	
54	B-07009173 (C99-2517)	女性	39歳		塩酸セフカベンピボキシル セラペプターゼ リン酸ベンプロペリン 非ピリン系感冒剤(4) エチゾラム プロナーゼ 補中益気湯	うつ病	回復	インフルエンザA型として塩酸アマンタジンを処方。 投与開始3日目、気分不良、うつ状態、食欲不振などの症状が出現し、本剤中止。 その後も「自殺を考えた」などの症状があった。	異常以外-52	
55	C00-152	女性	40歳		塩酸セフカベンピボキシル 塩酸クロフェダノール スルピリン	神経症 うつ病	不明	発熱、咳、咽頭痛にて本剤投与開始。 投与終了2日目夜、急に不安定になり、電話をかけまくり、不眠となる。 投与終了3日後、安静にせず、言うことを聞かない。躁の状態となる。	異常以外-53	
56	C99-3537	男性	47歳		リン酸ジメモルファン カルボシステイン セラペプターゼ	悪夢 幻覚 独語	回復	インフルエンザの診断にて塩酸アマンタジンの投与開始。 投与開始2日目及び3日目の夜、幻覚、悪夢、寝言様のひとりごとを発する。 投与開始4日目、再診、本剤中止。	異常以外-54	
57	C99-1303	男性	58歳		クラリスロマイシン ヒベンズ酸チベピジン イブプロフェン	筋痛 筋痙縮 血尿 歩行異常 譫妄	回復	A型インフルエンザを疑い塩酸アマンタジンなど投与開始。 投与開始5日目、譫妄状態出現し徐々に悪化。 投与開始6日目、本剤投与中止。歩行困難、筋痙攣あり。 翌日、意識状態回復傾向となり、その後は特に異常無し。	異常以外-55	
58	B-03010920	男性	63歳		マレイン酸エナラプリル ニフェジピン オキサゾラム ニコチン酸トコフェロール	振戦	回復	インフルエンザA型と診断し、塩酸アマンタジン投与。 投与4日目、顔面、上肢の振戦が出現。本剤中止。 投与中止3日後、次第に振戦が強くなる。 投与中止7日後、突然、完全に消失した。	異常以外-56	
59	C00-3531	女性	65歳		ヒューマンモノクローナル抗体 イントイヌリン 塩酸ジラゼブ	ジスキネジー	回復	透析療法中。 インフルエンザA型で、塩酸アマンタジン投与開始。 投与4日目、体の不随意運動あり。食事するにも振戦強く不自由。本剤投与中止。 投与中止2日後、透析。その後も体のふるえがあるため、日常生活も不自由、話すのもふるえる。 投与中止9日後、透析後に血液浄化。その後だいに体のふるえは改善。 投与中止27日後、ほぼ振戦は消失した。	異常以外-57	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
 (インフルエンザの効能追加承認(平成10年11月)から平成20年3月31日まで)

No.	個別番号	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回公表 No.	備考
60	B-07018469	女性	65歳		アセトアミノフェン テブレン	味覚消失 無嗅覚	軽快 軽快	インフルエンザに対して、塩酸アマンタジン投与開始。 投与3日目、解熱。食事の味、匂い感じなかった。 翌日より服用中止し、味覚、嗅覚ともに徐々に回復。	異常以外-58	
61	C03-153	男性	71歳		メナテトレノン 沈降炭酸カルシウム アルファカルシドール 塩酸エピナスチン シロスタゾール	幻覚 歩行異常 譫妄	回復	脳軟化症で加療中。 インフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン内服開始。 投与6日目、幻覚、せん妄、歩行障害が出現し、徐々に増悪。 投与7日目、アマンタジン投与中止。 投与中止2日後、全く歩行不能となったため、入院。 投与中止4日後、血液透析。 投与中止7日後、症状は明らかに改善傾向となり、歩行可能となった。幻覚も消失。	異常以外-59	
62	C03-1103	女性	73歳		メナテトレノン 沈降炭酸カルシウム アルファカルシドール ベシル酸アムロジピン	不眠症 譫妄	軽快	慢性腎不全にて腹膜透析中。インフルエンザA型にて、塩酸アマンタジン投与開始。 投与終了3日後、せん妄(夜間のみ)、不眠が出現。 投与終了7日後、血液透析を行う。その後、寛解と再燃をくり返す。頭部CTは、異常なし。 投与終了4週間後、血漿交換。せん妄はかなり改善。	異常以外-60	
63	B-03010286	女性	78歳		リン酸ジメモルファン フェニルプロパノールアミン 配合剤	失見当識 大脳萎縮	不明 不明	インフルエンザで塩酸アマンタジン投与開始。 投与3日目、意味不明の言葉を使うなど、見当識障害が発現し、本剤投与中止。 家族の話では、状態が落ち着くまで約1ヶ月近くかかったとのこと。 また、服用の1ヶ月前から軽い近時記憶障害があったとのこと。	異常以外-61	
64	C99-17282	女性	83歳			錯乱 妄想	回復	インフルエンザで、塩酸アマンタジンを投与開始。 投与5日目、妄想、錯乱をきたし、歩行困難となる。本剤投与を中止。 脳波に特に異常はみられなかった。約3日後回復する。	異常以外-62	

タミフル非使用症例の異常な行動が記載されている事例の概要(年齢順)(平成19年3月23日～平成21年3月31日までに入手できたもの)

No.	報告日	性	年齢	併用薬	異常な行動	経過の概要	備考
1	20070327	女性	8	不明 ただし、タミフル未服用	走り回る	平成16年11月12日、40度の発熱。 わけのわからないことを叫びながらリビングを走り回る。本人記憶なし。 翌日受診し、B型インフルエンザと診断される。	医療機関からの報告
2	20070403	男性	9		異常行動	本年3月末。インフルエンザA型と判明。体が浮くような感じがしてベランダに登りかけたところを家族が制止。	医療機関からの報告
3	20070402	男性	10	不明 ただし、タミフル未服用	転落	平成11年1月16日、朝から約40度の発熱で、近医受診し、インフルエンザA型と診断。 夕方、2階の窓から外へ転落。本人は窓の外に父がいると思いこんだとのこと。脳波正常範囲。インフルエンザに伴う意識障害による異常行動。	医療機関からの報告
4	20070406	男性	10	アモキシシリン水和物 チベピジンヒベンズ酸塩 L-カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動	本年3月25日。インフルエンザA型と判明。翌日夜39.9℃の発熱。急に起き上がり部屋から出て、他の部屋へ出入りする。焦点は定まらず。意思の疎通できず夜中に3度座り込み、笑い出す。朝、本人は昨晚のことがほとんど記憶にない。	医療機関からの報告
5	20070424	男性	10		異常行動	部屋の中を走り回る。本人の記憶あり。 その後、インフルエンザ感染症と診断し、リン酸オセルタミビル処方するも、処方後に異常行動の発現はなかった。	医療機関からの報告
6		男性	10歳代	イブプロフェン リン酸ベンプロペリン カルボシステイン インドメタシン ロラタジン	外に出ようとした	本年3月25日、高熱、咽頭痛、鼻水、咳あり。 翌日受診し、B型インフルエンザと診断。 翌々日、高熱にて解熱鎮痛剤の坐薬使用の2時間後、「追いつめられる」と叫び外へ出て行こうとした。	医療機関からの報告
7	20070327	男性	11		家から外に出た	本年3月1日、発熱。 「土が崩れる、天井から砂が降る」など言いながら、家の外へ出て、道路に寝ていた。 家族が連れ戻したが、覚えていない。 翌日受診し、B型インフルエンザと診断される。	医療機関からの報告

タミフル非使用症例の異常な行動が記載されている事例の概要(年齢順)(平成19年3月23日～平成21年3月31日までに入手できたもの)

No.	報告日	性	年齢	併用薬	異常な行動	経過の概要	備考
8	20070328	男性	11	葛根湯 アセトアミノフェン アンピシリンナトリウム・ス ルバクタムナトリウム	異常行動	本年3年22日、B型インフルエンザの治療開始。 翌日に異常行動。今回はタミフルを服用していない。タミフルは過去に2回服用歴があるが、異常行動は認めていない。 (なお、担当医に事情を聞いたところ、異常行動としては、夜に飛び起きて走り回ったとの由。本人は記憶ないとの由)。	医療機関からの報告
9	20070403	男性	11	ザナミビル水和物	幻覚、異常行動	本年3月22日。インフルエンザB型。1回目の吸入の数時間後、「誰かいる」など幻覚症状出現(体温38.9度)。2回目の吸入後、深夜、幻覚症状増悪。「外を見てくる」と言ってベランダに走って行った。家族が取り押さえた(体温40度近く)。	医療機関からの報告
10	20070406	女性	11	ザナミビル水和物	激越 譫妄	ザナミビル水和物処方後、押さえ込まないと暴れたり、大声を出したりする。「死にたい」「窓から落として」などと口走ったり、2階の窓から身を乗り出そうとするので、30分間抑えていた。その後、ザナミビル水和物吸入しても症状の発現はなかった。	医療機関からの報告
11	20070409	男性	11		異常行動	本年3月5日。夜に妙なことを言う。翌朝5:30から発熱(39.2度)により、受診。臨床的にインフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル投与したが服用せず。昼頃、おびえだし、観察していたところトイレへ走り便器に顔を突っ込むようなしぐさで「死にたい」などと言っていたので親が制止した。	医療機関からの報告
12	20070323	男性	12		飛び降り 骨折	本年3月12日、感冒症状で39度の発熱。 翌日、病院受診予定で、2階自室で就寝。「怖い人に追われる夢を見て」翌日深夜、2階から飛び降り、左足関節外踵骨折。	医療機関からの報告
13	20070330	男性	12	市販の風邪薬	転落 死亡	自宅9階から転落し死亡。3月27日に医療機関搬入。目撃情報なく、転落の詳細不明。死亡確認時の鼻腔粘膜検査にてインフルエンザA型陽性。発熱・上気道症状のため市販風邪薬を飲んだとのことだが、詳細不明。	医療機関からの報告
14	20070403	男性	12	クラリスロマイシン トラネキサム酸 L-カルボシステイン 耐性乳酸菌 アセトアミノフェン	異常行動	本年3月9日。インフルエンザB型。深夜、トイレに起きて別方向の窓(3階)を開けて出ようとしたため、家人が押さえた。その後別の窓を開け、再び出ようとしたため、家人が取り押さえ事なきを得た。本人はその時の記憶あり。	医療機関からの報告
15	20070403	女性	12	アセトアミノフェン	異常行動	本年3月25日。インフルエンザA型と診断。夜、2階から降りてきて、道路に出て行こうとするので、家族が必死で制止し、なんとか押さえつけることができた。	医療機関からの報告

タミフル非使用症例の異常な行動が記載されている事例の概要(年齢順)(平成19年3月23日～平成21年3月31日までに入手できたもの)

No	報告日	性	年齢	併用薬	異常な行動	経過の概要	備考
16	20070410	男性	13		異常行動 譫妄	以前より誰かに追いかけられるような感覚を伴う怖い夢を見ることあり。 本年3月5日。発熱および感冒症状を認めたが、リン酸オセルタミビルを含む薬物の処方を受けていなかった。翌朝4時過ぎより譫妄による怯え。また、その日の夜は平素と変わらぬ様子で入眠するが、夜中、自宅(3階)より転落し、現場で膝を抱えて座って叫んでいる状態を家人が発見。本人に転落前後の記憶はなかった。	医療機関からの報告
17	20070402	男性	14	塩酸エブラジノン 塩酸アンブロキシソール d-マレイン酸クロルフェニラミン アセトアミノフェン セフジニル 塩酸ツロブテロール	異常行動	本年3月7日夜より発熱38.5℃。迅速診断キットによりA型インフルエンザ陽性。本人及び家族の希望によりタミフル処方せず。3月8日夜、39.8℃の発熱あり。突然走りだし、マンションアより飛び出しエレベータまで行き、父と兄が強制的に抑えた。その後1時間ほど興奮し、その後眠った。翌日より異常なし。3月8日の行動について本人は覚えていない。	医療機関からの報告
18	20070412	男性	14		異常行動 悪夢 睡眠時遊行症	本年3月15日、朝から38℃台の発熱で自宅にて安静していたが、36℃台になり登校。夜0時前に就寝後、夢の中で何かに追いかられ、それから逃げようと思ひ飛び降りたら、それが現実だった。本人が気付いたときは自宅の庭であった。翌朝4時に近所の人に発見され、救急車で搬送された。搬送時と病院到着時意識清明。体温39.4℃。インフルエンザB(+)。右第2～4中足骨骨折あり。睡眠脳波、頭部MRI正常。	医療機関からの報告
19	20070530	女性	14	一般用総合感冒薬	熱せん妄	入院2日前から38℃の発熱あり。「頭がボーンとする」と訴えていた。市販の総合感冒薬を内服したが著変なかった。 入院当日夕方、頭痛あり。「頭がおかしい。ベッドから落ちそうな感覚。怖い夢をみてベランダから飛び降りそうになる」などの訴えあり。トイレに行こうとして玄関に出ていってしまい、結局部屋にもどった。一時、ろれつがまわりにくくなった。発熱、異常行動を主訴に夜、救急受診した。受診時、40.6℃。ややポーっとした感じはあるが意思疎通に問題なし。座位、立位不能。「ベッドにじっと寝ていられない感じがする。ベッドから落ちそう」と訴えるが実際は熱くなく冷感あり。夜入院し、輸液とザナミビル1日2回吸入で経過観察となる。 翌日、深夜から早朝にかけて「うるさい」と叫ぶことが数回観察された。これ以降、異常言動・異常感覚はみられなかった。午前中には座位可能となり、この日は37℃台後半であった。 翌々日には解熱した。	医療機関からの報告

タミフル非使用症例の異常な行動が記載されている事例の概要(年齢順)(平成19年3月23日～平成21年3月31日までに入手できたもの)

No	報告日	性	年齢	併用薬	異常な行動	経過の概要	備考
20		男性	14	アセトアミノフェン	飛び降り	本年3月19日発熱(38℃前後)し、持続するため翌日来院。少し倦怠感あるが、他に症状無し。インフルエンザB型陽性。症状軽いため解熱剤のみ処方。翌日朝、2階で寝ている患児がおらず、素足でうろろと庭を歩いている。飛び降りた瞬間に意識が戻り、ベランダのパイプに手をかけたことは覚えているが、どのように落ちたかは記憶にない。また、部屋で壁に頭をがらがんぶつけたことは記憶している。けがは全くなく、昼には意識清明。その間、薬は解熱剤を含め一切服用していない。	横浜市医師会による公表
21	20070328	男性	15	セフポドキシムプロキセチル アセトアミノフェン 塩化リゾチーム	飛び降り	本年3年7日頃、インフルエンザ疑い。 処方された薬を服用後、2階から飛び降りたとのこと。	医療機関からの報告
22	20070329	男性	15	アセトアミノフェン ジメモルファン カルボシステイン アモキシシリン ベポタスチン	家から外に出ようとした	本年3年27日、B型インフルエンザで寝ていた本人が、深夜突然、むくつと起きだし、上着を着て外へ出ようとした。家族が止め、5分ほどで落ち着く。 翌日、本人は覚えていない。	医療機関からの報告
23	20070621	男性	17	一般用かぜ薬(内用) 一般用解熱鎮痛薬	異常行動	インフルエンザA型。 本年4月22日未明、一般用解熱鎮痛薬服用。本人によると「(うつらうつらして)誰かが2階から飛び降りたので、自分もそれを追って2階から飛び降りた。飛び降りて我に返った。」。 左膝関節痛、腰痛、左頬擦過傷。骨折なし。	医療機関からの報告
24	20070403	女性	78	デキストロメトルファン臭 化水素酸塩水和物 アンブロキシソール塩酸塩 イブプロフェン 降圧剤(詳細不明) 酸化マグネシウム	譫妄、激越	本年3月28日。インフルエンザA型と判明。探し物をしてあちこちの棚を開け、制止し臥床させても起き出して行動を始める。足下はフラフラしており、探し物をする手も少し震えていた。話しかけても理解できない様子。	医療機関からの報告

No.	整理番号	年齢数値	年齢単位	性別	異常な行動	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝中じゃない:×)	発症直後に発現	就寝中の場合、就寝時刻から発現までの時間	回復までの時間	一眠して完全回復	体温	患者の記憶	睡眠時無呼吸症候群の既往	睡眠時無呼吸症候群の発症	発熱	他剤による副作用の可能性	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、親が幻覚を見ていたよと言っているのか?)
1	0610 3668	8	年	女性	走り回る	2004/11/12	×				Yes	発熱持続中	無	無	無	無	無	わけのわからないことを叫びながらリビングを走りまわった。
2	0710 0127	9	年	男性	異常行動	2007/3/31	10:00			10hr		発熱持続中	一部有 浮く感じは覚えているが、ベランダに登ったことは覚えていない。	無	無	無	無	午前中から何回か体が浮くような感じを訴えていたが、夕方ベランダの方によじ登ろうとした
3	0710 0055	10	年	男性	転落	1999/1/16	16:30	×		20min	Yes	発熱持続中	無	不明	不明	不明	無	窓の外に父がいると思って2階の窓から外に出てそのまま転落。一人で屋内に戻ってきたところを発見。「父が窓の外にいたと思った」というのは本人の記述。
4	0710 0180	10	年	男性	異常行動	(1回目) 2007/3/25 22:00 (2回目) 2007/3/25 23:00 (3回目) 2007/3/26 未明	(1)○ (2)○ (3)○		1hr		Yes	(1)解熱過程 (2)解熱過程	(1)無 (2)無 ただし、両親の名前を聞かれたことは覚えている。電気を消す前にトイレに行ったことも覚えていた。	無	無	無	無	(1回目) 急に起き上がり部屋からでる。2階の他の3つの部屋のドアをあけて入ったり出たりする。 (2回目) 寝ていたのに急に起きあがり笑い出す。焦点定まらず。「今日は何曜日か」と尋ねるが答えられない。「今日は日曜日よ。明日は何曜日?」と尋ねると「土曜日」と答える。何度か同じことを尋ねるも、答えは「土曜日」である。「お母さんはどこにいる?」と尋ねると目の前にいるのに、窓の方を指差し「あそこにいる」という。 寝る前に両親の名前を聞いてみたところ、きちんと答えることができた。 (3回目) 夜中に3回座り込み笑い出す。母親の顔に自分の顔を近づけ変な顔をする。 発熱出現時に家の中を走り回る。
5	0710 0440	10	年	男性	異常行動	2007/3/23	14:00	×		30min	Yes	発熱持続中	有	無	無	無	無	発熱出現時に家の中を走り回る。

タミフル非使用例の異常な行動が記録されている事例の追加調査結果（年齢順）

No	整理番号	年齢数値	年齢単位	性別	異常な行動	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝中じゃない:×)	覚醒直後に発現	就寝中の場合、就寝時刻から発現までの時間	回復までの時間	一眠りして完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症等の既往	睡眠覚醒症等の家族歴	光に対する反応	他に異常な行動の副作用歴	異常な行動の既往	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、親が幻覚を見ていたよと言っているのか?)
6				男性	外に出ようとした	2007/3/27 6:30													
7	06103668	11	年	男性	家から外に出た	2007/3/1 20:00			1hr	Yes	発熱持続中	一部有	不明	不明	無	無	不明		「土がせまってきた」、「家が崩れる」、「天井から砂が降ってくる」、「うまる、うまる」といい、家からでて道路で寝た。3/5に本人に聞くと、家が崩れてきたのは覚えているが、外で寝たのは覚えていないとのことだった。
8	06103688	11	年	男性	異常行動	2007/3/22 22:00	○		0hr	3hr	Yes	発熱持続中	無	無	無	無	無	無	とびおきて走り出す
9	07100064	11	年	男性	幻覚、異常行動	(1回目) 2007/3/22 17:00 (2回目) 2007/3/23 午後	(1)○ (2)○				(1)Yes (2)Yes	(1)発熱持続中 (2)発熱持続中	(1)無 (2)無	有 6, 7才頃、たまたまに就寝中起きてワーツと泣いて母親のところへ来ることあり。(発熱(-))	有 (母親)	不明	無	無	(1回目)幻覚:指を示して「誰がいる」と泣き叫ぶ。繰り返しあり。 (2回目)「自分が何人も逆立ちしている」、「外を見て来る」と言ってベランダへ走りだした。
10	07100179	11	年	女性	激越譫妄	2007/3/4 14:30	○		2hr	30min	Yes	発熱持続中	無	無	有 (3才下の弟が40℃の高熱で就寝中に「こわいこわい」とうなされた程度はごくたまにあった。)	無	無	突然大声で叫んだ。「頭がぐるぐる廻る」、「気持ち悪い」、「窓から出して」、「生きていてもしかたがない」といって窓の外へ出ようともがくので、抑制しながら30分程度待つと徐々に沈静化。Coolingして状態(興奮)がおさまり再び眠った。	

タミフル非使用例の異常な行動が記録されている事例の追加調査結果（年齢順）

No.	整理番号	年齢数値	年齢単位	性別	異常な行動	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝中じゃない:×)	覚醒直後発現	就寝中の場合、就寝時刻から発現までの時間	回復までの時間	一眠目して完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症等の時注	睡眠覚醒症等の家族歴	親に対する反応	他に異常な行動の副作用歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、親が幻覚を見ていたよと言っているのか?)
11	0710 0197	11	年	男性	異常行動	2007/3/5 15:00	×				Yes	発熱持続中	無			無	無	何かにおびえているような状態で、母親が注意して観察していたら、急にトイレにかけ込んで、便器の水に顔を突っ込む仕草で「死にたい」と言い錯乱状態になった。母親が制止した。
12	0610 3608	12	年	男性	飛び降り骨折	2007/3/12 1:30	○				Yes	発熱持続中	有	無	不明	不明	無	本人によると、怖い人に追いかける夢を見て逃げようとして二階から飛び降りた。
13	0610 3748	12	年	男性	転落死亡	2007/3/27 21:00	×	○				不明	不明	無	無	無	無	自宅9階から転落。心肺停止し、死亡。
14	0710 0056	12	年	男性	異常行動	2007/3/9 1:00	×	○					有					トイレに起きて、トイレと別方向へいき、3階の窓を開けて出ようとした。家人が制止したが、こんどは別の窓を開け、再び出ようとしたため、家人が取り押さえた。 本人は異常行動時の記憶あり。本人曰く、「もし制止されなければ、そのまま飛び降りたと思う。」
15	0710 0128	12	年	女性	異常行動	2007/3/26 21:50	不明			10min		不明	有	不明	不明	不明	不明	二階から降りてきて、外に出ようとした。家族が抑えて阻止した。目をつり上げ、咳も吐き、いつもと違う様子であった。数分後鼻出血あり。その後正気に戻った。
16	0710 0217	13	年	男性	異常行動 譫妄	(1回目) 2007/3/6 4:00 (2回目) 2007/3/7 0:30	(1)○ (2)○					(1)発熱持続中 (2)発熱持続中	(1)不明 (2)無	有 以前より誰かに追いかけるような感覚を伴う怖い夢を見ることがあった。睡眠時驚愕症といえるかは不明。遊行症はなし。	不明	無	無	(1回目) 「誰かが部屋にいる。」「悪口を言った相手とその父親が自分を殺しにくるので死にたい」と怯えた表情で母に訴えた。 (2回目) 3階の自宅より飛びおり、膝を抱えて叫んでいた。

タミフル非使用例の異常な行動が記録されている事例の追加調査結果（年齢順）

No.	整理番号	年齢数値	年齢単位	性別	異常な行動	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝中じゃない:×)	発熱 出現	就寝中の場合、就寝時刻から発現までの時間	回復までの時間	眠り 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠驚愕症等の既往	睡眠驚愕症等の家族歴	光に対する反応	他に異常な行動の副作用歴	異常な行動の既往	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、親が幻覚を見ていたよと言っているのか?)
17	0710 0005	14	年	男性	異常行動	2007/3/9 2:00	○		4hr	1hr	Yes	発熱持続中	無	有 睡眠時驚愕症:幼稚園の頃より夜間睡眠中突然起き上がり「怖い」と云う。あらぬ事を云う場合もある。すぐ覚醒(2-3分間)	無	無	無	無	突然走り出しマンションの部屋を飛び出しエレベーターの所まで行った。家族が強制的に抑えた。その後約1時間家中歩き回り、自分が軍隊にいた様な話をした。その後睡眠。翌日には意識はっきりした。
18	0710 0265	14	年	男性	異常行動 悪夢 睡眠時遊行症	2007/3/17 4:00	○		4hr		Yes	発熱持続中	有	有 (小学校低学年のとき、夢をみて(おいかげられるような)逃げ回った)	無	無	無		夢の中で何かに追われ、夢だから大丈夫と思って飛び降りた
19	0710 0800	14	年	女性	熱せん妄	2007/4/29 16:00	×				Yes	発熱持続中	有	無	無	無	無	有 (タミフルを服用するとボーッとする等の不快感が生じ、次の内服時間の直前にその不快感が最も少なかったとの証言あり)	本人の証言:「頭がおかしい」、「ベッドから落ちそう」、「怖い夢を見てベランダから落ちそう」 家でトイレに行こうとして玄関をでそうになる。
20	0610 XXX 1	14	年	男性	飛び降り	2007/3/23 6:00	○				Yes	発熱持続中	一部有 ポールにつかまって落ちた時の記憶はある。	無	無	不明	無	無	2階から出て、屋根を歩き、飛び降りる瞬間に意識が戻って、ベランダのポールにつかまって落ちたらしい。
21	0610 3702	15	年	男性	飛び降り	2007/3/7								不明	不明	不明	不明	不明	患者家族の友人の方によると、自宅の2階から飛び降りた。

タミフル非使用例の異常な行動が記録されている事例の追加調査結果（年齢順）

No.	整理番号	年齢数値	年齢単位	性別	異常な行動	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝中じゃない:×)	覚醒直後に発現	就寝中の場合、就寝時刻から発現までの時間	回復までの時間	一眠りして完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症等の既往	睡眠覚醒症等の家族歴	光に対する反応	他剤による異常な行動の副作用歴	異常な行動	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、親が幻覚を見ていたよと言っているのか?)
22	06103713	15	年	男性	家から外に出ようとした	2007/3/27 2:00	○			5min	Yes	解熱過程	無	不明	不明	不明	不明	不明	ムクッとおきて上着を着て外に出ていこうとした。
23	07101049	17	年	男性	異常行動	2007/4/22 2:30	○					発熱持続中	無	無	無	無	無		外で呼ぶ声があるので親が確認しに行ったところ、外に裸足で息子が立っていた。自室の窓は開いていた。本人曰く、「うつらうつらしていたが、誰かが2階から飛び降りたので、自分もそれを追って2階から飛び降りた。飛び降りて我に返った」とのこと。
24	07100063	78	年	女性	譫妄、激越	2007/3/28 18:00	×			3hr		発熱持続中	無	無	無	無	無	不明	さがし物をしてあちこちの棚をあける。静かにしてられない。足のフラツキ、手のふるえ

タミフル非使用例の異常な行動が記録されている事例の集計（注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計）

1. 年齢別

年齢別①

	症例数	(%)
10歳未満	2	8
10代	21	88
20代	0	0
30代	0	0
40代	0	0
50代	0	0
60代	0	0
70代	1	4
80代	0	0
90代	0	0
小計	24	100
不明	0	
総計	24	

年齢別②

	症例数	(%)
6歳以下	0	0
7歳から9歳	2	9
10歳から12歳	12	52
13歳から15歳	7	30
16歳から18歳	1	4
19歳以上	1	4
小計	24	100
不明	1	
総計	24	

2. 性別

	症例数	(%)
女性	5	21
男性	19	79
小計	24	100
不明	0	
総計	24	

タミフル非使用例の異常な行動が記録されている事例の集計（注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計）

3. インフルエンザウイルス型別

	症例数	(%)
A型インフルエンザ	9	38
A&B型インフルエンザ	0	0
B型インフルエンザ	12	50
型不明	0	0
不明	2	8
予防	0	0
陰性	1	4
小計	24	100

4. 異常な行動の発現時期別

①年別

年	症例数	(%)
1999	1	4
2000	0	0
2001	0	0
2002	0	0
2003	0	0
2004	1	4
2005	0	0
2006	0	0
2007	22	92
小計	24	100
不明	0	
総計	24	

②シーズン別

	症例数	(%)
1998-1999シーズン	1	4
1999-2000シーズン	0	0
2000-2001シーズン	0	0
2001-2002シーズン	0	0
2002-2003シーズン	0	0
2003-2004シーズン	0	0
2004-2005シーズン	1	4
2005-2006シーズン	0	0
2006-2007シーズン	22	92
小計	24	100
不明	0	
総計	24	

シーズン；8月から7月

タミフル非使用例の異常な行動が記録されている事例の集計（注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計）

5. インフルエンザ発症から異常な行動発現までの病日

病日	症例数	割合
1	6	29
2	7	33
3	6	29
4	1	5
5	0	0
6以上	1	5
小計		100
不明	3	
総計	24	

6. 最初の投与から異常な行動の発現までの時間

時間	症例数	割合
1時間未満		
1時間以上2時間未満		
2時間以上3時間未満		
3時間以上4時間未満		
4時間以上5時間未満		
5時間以上6時間未満		
6時間以上12時間未満		
12時間以上24時間未満		
24時間以上48時間未満		
48時間以上		
小計		
不明		
総計		

タミフル非使用例の異常な行動が記録されている事例の集計（注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計）

7. 直前の投与から異常な行動の発現までの時間

	症例数
1時間未満	/
1時間以上2時間未満	
2時間以上3時間未満	
3時間以上4時間未満	
4時間以上5時間未満	
5時間以上6時間未満	
6時間以上12時間未満	
12時間から	
不明	
総計	

8. 異常な行動の発現時の体温

①異常な行動の直前の体温（発現前6時間以内）

	症例数	%
36度台	1	5
37度台	1	5
38度台	4	21
39度台	10	53
40度台	3	16
41度以上	0	0
小計	19	100
不明	5	
総計	24	

②異常な行動の発現時の体温の経過

	症例数	%
発熱持続	17	89
解熱過程	2	11
解熱後	0	0
小計	19	100
不明	5	
総計	24	

タミフル非使用例の異常な行動が記録されている事例の集計（注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計）

9. 異常な行動の発現時刻別

	症例数	(%)
0時から6時まで	8	33
6時から12時まで	3	13
12時から18時まで	6	25
18時から24時まで	7	29
小計	24	100
不明	0	
総計	24	

10. 就寝から異常な行動の発現までの時間

	症例数	(%)
1時間未満	1	14
1時間以上2時間未満	2	29
2時間以上3時間未満	1	14
3時間以上4時間未満	1	14
4時間以上5時間未満	2	29
5時間以上	0	0
小計	7	100
不明/就寝中ではない	17	
総計	24	

タミフル非使用例の異常な行動が記録されている事例の集計（注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計）

11. 異常な行動の発現が就寝中か否か

	症例数	
Yes	11	58
No	8	42
不明	5	
総計	24	

12. 異常な行動の発現が覚醒直後か否か

	症例数	
Yes	2	100
No	0	0
不明	22	
総計	24	

13. 異常な行動が一眠りして回復したか否か

	症例数	
Yes	15	100
No	0	0
不明	9	
総計	24	

タミフル非使用例の異常な行動が記録されている事例の集計（注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計）

14. 異常な行動に関する患者の記憶の有無

	症例数	%
有	9	43
無	12	57
小計	21	100
不明	3	
総計	24	

15. 光に対する反応の有無

	症例数	%
有	0	0
無	15	100
小計	15	100
不明	9	
総計	24	

タミフル非使用例の異常な行動が記録されている事例の集計（注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計）

16. 睡眠時驚愕症又は睡眠時遊行症の既往歴の有無

	症例数	(%)
有	4	25
無	12	75
小計	16	100
不明	8	
総計	24	

17. 睡眠時驚愕症又は睡眠時遊行症の家族歴の有無

	症例数	(%)
有	2	14
無	12	86
小計	14	100
不明	10	
総計	24	

18. 異常な行動の回復までの時間

	症例数	(%)
30分未満	3	33
30分以上1時間未満	1	11
1時間以上6時間未満	4	44
6時間以上24時間未満	1	11
24時間以上	0	0
小計	9	100
不明	15	
総計	24	

タミフル非使用例の異常な行動が記録されている事例の集計（注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計）

19. 異常な行動等が発現後の投与を継続した症例の状況

20. 他剤による同様な副作用歴の有無

	症例数	(%)
有	0	0
無	19	100
小計	19	100
不明	5	
総計	24	

21. 熱性痙攣の既往歴の有無

	症例数	(%)
有	1	6
無	17	94
小計	18	100
不明	6	
総計	24	

22. 熱性痙攣の家族歴の有無

	症例数	(%)
有	3	20
無	12	80
小計	15	100
不明	9	
総計	24	

タミフル非使用例の異常な行動が記録されている事例の集計

参考1 主な併用薬剤の内訳

	薬効細分類2	集計
解熱鎮痛消炎剤	アニリン系製剤	8
	サリチル酸系製剤	
	その他の解熱鎮痛消炎剤	2
	フェニル酢酸系製剤	
	塩基性消炎鎮痛剤	
	計	10
去たん剤	システイン系製剤	4
	その他の去たん剤	2
	ブロムヘキシン製剤	
	植物性製剤	
	計	6
鎮咳去たん剤	その他の鎮咳去たん剤	
	植物性製剤	
	計	
抗ヒスタミン剤	その他の抗ヒスタミン剤	1
	トリペレナミン系製剤	
	フェノチアジン系製剤	
	計	1
鎮咳剤	エフェドリン及びマオウ製剤	
	その他の鎮咳剤	4
	デキストロメトर्फアン製剤	1
	計	5
主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	オキサセフェム系抗生物質製剤	
	セフェム系抗生物質製剤	2
	その他の主としてグラム陽性・陰性菌に作用 ペニシリン系抗生物質製剤	3
	計	5
気管支拡張剤	イソプレナリン系製剤	
	キサンチン系製剤	
	その他の気管支拡張剤	1
	計	1
消化性潰瘍用剤	H2遮断剤	
	その他の消化性潰瘍用剤	
	計	

参考2 既往症・合併症

医師記載疾患名	既往症	合併症	計
アトピー性皮膚炎	1		1
意識障害		1	1
気管支喘息	1		1
急性鼻咽頭炎		1	1
急性扁桃腺炎		1	1
高血圧	1		1
睡眠時驚愕症	4		4
熱性けいれん	1		1
扁桃腺炎		1	1
便秘	1		1
計	9	4	13